



このほん ば〜った!

図書館員が選んだおすすめの絵本



静岡市立図書館



“ば～った”は、席や場所、物など、たくさんの人に選択権のあるものを、いち早く確保する、占有するという意味の静岡の方言です。

はじめに

情報通信技術が日進月歩の勢いで進歩し、多様な考え方や価値観を持った人々が共に生きていく社会の中で、子ども達を取り巻く読書環境も大きく変化しています。しかし、読書が子ども達の言葉に対する感性を磨き、豊かな想像力・創造力を育むことに変わりはありません。

『子どもの読書活動の推進に関する法律（2001年制定）には子どもにとっての読書の重要性が明記され、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定されて以来、本市においても、令和5年3月には『第4次静岡市子ども読書活動推進計画』が策定されました。これは家庭・学校・地域等が連携し、読書環境の整備・充実を図る取り組みを通して、子ども達のより豊かな読書活動を目指すものです。

ブックリスト『このほんば〜った！ 図書館員が選んだおすすめの本』の発行は、その取り組みの一つであり、平成3年の発行以来2度の改訂を経て、今回、新たな絵本の追加等を行いました。静岡市立図書館全12館の児童サービス担当者が、子ども達におすすめしたい絵本242冊を紹介しています。

このブックリストが、子どもと本を結ぶ方々の絵本を選ぶ一助となり、すべての子ども達に読書の喜びが届くことを願っています。

令和6年3月1日

静岡市立中央図書館
館長 勝見 幸弘

この冊子の使いかた

- ①対象年齢別・書名順に紹介しています。
※対象年齢は、あくまでも目安です。
- ②絵本の分類は『E』です。
- ③静岡市立図書館では、作家（絵を描いた人）の名前（姓）の50音順に並んでいます。
- ④絵本の背に作家の名前（姓）の3文字までのラベルが貼ってあります。
- ⑤ラベルの色は次のとおりです。

■ア行……赤	■カ行……水色	■サ行……黄緑
■タ行……ピンク	■ナ行……青	■ハ行……オレンジ
■マ行……緑	■ヤ・ラ・ワ行……黄色	

- ⑥この冊子の著者名等は、絵本の表紙に記されているものを掲載しています。
- ⑦さくいんの著者・画家名は、TRC人名典拠録によるものです。

この冊子は、『このほんばーった！』（旧静岡市平成3年発行）と『おはなしのとびら』（旧清水市平成7年発行）を見直し、改訂した『このほんばーった！』平成27年発行の三訂版です。

目次

3歳くらいから楽しめる絵本	4
4・5歳くらいから楽しめる絵本	11
6歳くらいから楽しめる絵本	27
ちしきの絵本	39
むかしばなし絵本	41
さくいん【書名】	44
さくいん【著者・画家名】	47



3歳くらいから 楽しめる絵本

……赤ちゃん絵本を卒業したら……
＝おすすめの35冊＝



あおくんと きいろちゃん

レオ・レオニ 作
藤田圭雄 訳
至光社

レオニ

あおくんには、お友だちがたくさん。その中でも一番の仲良しは、きいろちゃんです。ある日、お留守番をしていたあおくんは、きいろちゃんと遊びたくてたまらなくなっていました。顔のない、ただの丸なのに、ふたりの心が伝わってきます。

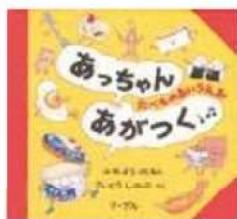


あくび

中川ひろたか 文
飯野和好 絵
文溪堂

イイノ

「フワー」と、かばがあくびをしました。それを見たきりんも「フワー」。それを見たぞうも「フワー」。あくびが次々にうつていきます。特徴的に描かれた迫力ある大あくびは、見ているだけでくすっとしてしまいます。ゆったりとした気分の時にぴったりです。

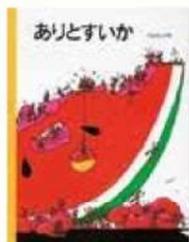


あっちゃん あがつく

みねよう げんあん
さいとうしのぶ さく
リーブル

サイト

「あっちゃんあがつくあいすくりーむ」から「んっちゃんがつく」までリズムにのって楽しめる、たべものあいうえお絵本。濁音、半濁音の「がっちゃん」や「ぱっちゃん」もいます。どのページをめくっても可愛らしいたべものたちでいっぱいです。



ありとすいか

たむらしげる
ポプラ社

タムラ

暑い夏の午後、ありがすいかを見つけました。「これはうまいぞ。巣に運ぼう。」ところがすいかは、びくともしない。ありは仲間を呼んで懸命に運びます。もう巣はすいかでいっぱい。「あとはみんなで食べちゃおう」そして最後には楽しい遊びが待っています。



おがえし

村山桂子 さく
織茂恭子 え
福音館書店

オリモ

きつねの奥さんが美味しそうないちごを手に、引っ越しのあいさつにやってきました。「なにかお返ししなくっちゃ。」と、たぬきの奥さん。さあ、お返し合戦の始まりです。お返しのお返しのお返しの……。いったいどうなることやら。とても楽しいお話です。



おたすけこびと

なかがわちひろ 文絵
コヨセ・ジュンジ 絵
徳間書店

コヨセ

お母さんが、電話で何かを頼みました。「さあ、しごとだ！」おたすけこびとたちが、いっせいに走り出します。ブルドーザーやショベルカーに乗り込んで向かった先には、卵にバター、小麦粉、砂糖、ふくらし粉が。さて、何が始まるのでしょうか。



おやすみなさい おつきさま

マーガレット・ワイス・ブラウン さく
クレメント・ハード え
せたていじ やく
評論社

ハト

大きな緑のお部屋の中、ベットに入ったこうさぎ。こうさぎは、おつきさまと、お部屋の色々なものに「おやすみ」を言っていきます。少しずつお部屋は暗くなり、おつきさまもゆったりと動きます。最後はパチパチという暖炉の音までも眠りにつくようです。



かいちゅうでんとう

みやこしあきこ さく
福音館書店

ミヤコ

「スイッチ カチ。」懐中電灯の光でいつもの寝室が様変わりします。光の形が変わったり、人形劇や影遊びが始まったり。暗い部屋は子どもたちにとって絶好の遊び場です。子どもたちは遠くを照らし始めました。光はいったいどこまで届くのでしょうか。



かばくん

岸田衿子 さく
中谷千代子 え
福音館書店

ナカタ

日曜日の動物園。かばくんたちを見に、大勢の子どもたちがやってきます。そんな中でも、かばくんたちはマイペース。子どもたちを眺めて、ごはんをモリモリ食べて、夜が来たら眠ります。やさしい言葉と絵で、かばくんたちの穏やかな性格を描いています。

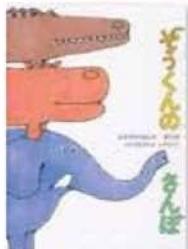


じゃくちをあけると

しんじろうすむ さく
福音館書店

シンク

水道のじゃくちから出てくる水。指で触れると楽しい音が。コップやスプーンをあてるといろいろな形に変わります。毎日使う水も、子どもにとっては不思議がいっぱい！生活の中のちょっとしたワクワクに気づかせてくれる1冊です。



そうくんのさんぽ

なかのひろたか さく・え
なかのまさたか レタリング
福音館書店

ナカノ

天気の良い日、ご機嫌なそうくんは散歩に出かけます。かばくを散歩に誘うと「せなかにのせてくれるならいいよ」「いいともいいとも」とそうくん。さらにわにくん、かめくものせると……。そうくんの表情とレタリング文字が味わいを深めます。



ちいさなちいさなおんなのこ

フィリス・クラシロフスキー 文
ニノン 絵
福本友美子 訳
福音館書店

ニノン

むかしあるところにちいさな女の子がいました。近所の誰よりもちいさな女の子は、ある日変化に気がきます。ページが進むにつれ女の子は大きくなりできることがどんどん増えて、ついに……。女の子のくらしの様子がとてもかわいらしく描かれている一冊です。



ちいさなヒッポ

マーシャ・ブラウン さく
うちだりさこ やく
偕成社

フラウ

かばの赤ちゃんヒッポは、かばの言葉を勉強中。ある日、ヒッポはおとなが眠っている間に一匹で出かけ、金みどりの目の大きなわににしっぽをかみつかれてしまいます。ヒッポは危険を知らせる言葉をお母さんに伝えられたのでしょうか？ 迫力満点の版画絵本です。



ティッチ

バット・ハッチンス さく・え
いしいももこ やく
福音館書店

ハツチ

ティッチはちいさな男の子。兄さんのピートと姉さんのメアリは、いつもティッチの持っているものよりいいものを持っていて自慢げです。でも、ティッチが持っている小さな種を植えたら……。最後のティッチの表情にご注目。きょうだいの素敵なお話です。



てじな

土屋富士夫 作
福音館書店

ツチャ

ターバンを巻いた怪しげな手品師が登場しました。手品師と一緒に魔法の呪文を唱えてみましょう。「あんどら、いんどらうんどら！」この一冊にいくつもの手品が繰り広げられます。穴あきのしかけがあり本当に手品を見ているような気持ちになります。



でんしゃにのったよ

岡本雄司 さく
福音館書店

オカモ

三つの電車を乗り継いで、ぼくはお母さんと東京のいとこのしんちゃんちに出かけます。静岡の地名も登場して川にかかる鉄橋や風景が身近に感じられます。表紙を広げると木版画調の一両の電車が現れます。水色の帽子をかぶったぼくといっしょに旅をしましょう。



でんしゃにのって

とよたかずひこ
アリス館

トヨタ

うららちゃんは、電車に乗っておばあちゃんのところへひとりでお出かけです。降りる駅は「ここだ」駅。お土産と切符をしっかりとって、お出かけの始まり始まり。次の駅は「わにだ」駅。どんなお客さんが乗って来るのかな？



とりかえっこ

さとうわきこ 作
二俣英五郎 絵
ポプラ社

フタマ

「ぴよぴよ」と鳴きながら遊びに出かけたひよこは、ねずみと出会って鳴き声をとりにかえっこしました。ひよこは「ちゅうちゅう」と鳴きながら歩いて行きます。いろいろな動物の鳴き声になるひよこ。最後はどうなるのでしょうか。くり返しが楽しい絵本です。



とんとんとめて くださいな

こいでたん ぶん
こいでやすこ え
福音館書店

コイテ

ハイキングの帰りに道に迷った3匹のねずみは、森の中で見つけた家に泊めてもらうことにしました。ところが家には誰もいません。後からやってきた動物たちと休んでいると、黒い大きなものがにゅうっと入ってきて……。室内の描写にも注目です。



なにをたべて きたの？

岸田裕子 文
長野博一 絵
俊成出版社

ナカノ

お腹を空かせたしろぶたくんは、おいしいそうなきれいなりんごを見つけて食べました。すると、しろぶたくんの体がきれいなりんごの色になりました。次々と果物を食べていくしろぶたくん。最後に見つけたのは石けんで……。想像が膨らむ絵本です。

ちょっとひとやすみ①

絵本の読み聞かせを始めるのに、早すぎることも遅すぎることもありません。「一緒に絵本を楽しみたいな」と思ったときから、気軽に始めてみましょう。子どもが絵本の世界を楽しむために、最初は大人の手助けが必要です。「読んで！」と言われたら、**読み手も聞き手も一緒になって**物語を楽しみましょう。





ねずみくんのチョコッキ

なかえよしを 作
上野紀子 絵
ポプラ社

ウエノ

お母さんが編んでくれた赤いチョコッキ。ねずみくんにぴったりです。そこへあひるくんがやってきて、「いいチョコッキだね。ちょっとさせてよ」。ねずみくんのチョコッキを、動物たちが次々に借りていって……。人気のねずみくんシリーズ1作目。



のろまなローラー

小出正吾 さく
山本忠敬 絵
福音館書店

ヤマモ

ローラーは、今日もあせをかきかき、でこぼこ道をなおしています。そこへ、後ろからぶつぶつぶっと大きなトラックがやってきて、ローラーをしかりつけながら追い越して行きました。ところが、トラックは……。ローラーの大きな活躍に心躍ることでしょう。



はなをくんくん

ルース・クラウス ぶん
マーク・シーモント え
きじまはじめ やく
福音館書店

サイモ

静かに雪が降り積もる森の中、動物たちはみんな眠っています。やがてみんな目を覚まし、鼻をくんくん、くんくん。そしてかけていく、かけていくその先には……。モノクロで描かれている雪景色の中に、春の始まりがかくれています。



はらぺこあおむし

エリック＝カール さく
もりひさし やく
偕成社

カル

あたたかい日曜日の朝、たまごからちっぽけなあおむしが生まれました。あおむしはお腹がべっこぺこ。月曜日、りんごを1つ食べました。火曜日、なしを2つ食べました。土曜日、ついにお腹が痛くなって……。展開がおもしろい、穴の開いたしかけ絵本です。



パンダ銭湯

tuperatuperu さく
絵本館

ツヘラ

動物園で人気のパンダの秘密を、こっそりのぞいてみませんか。親子のパンダがやってきたのは、パンダ以外は入店お断りのパンダ銭湯。懐かしい番台や黄色い湯桶など銭湯の細部にもご注目。目からうろこの愉快なストーリーにあなたもクスッと笑えますよ。



パンやのくまさん

フィービ と
セルビ・ウォージントン
さく・え
まさぎるりこ やく
福音館書店

ウオシ

パンやのくまさんの一日は、朝早くかまどに火を入れるところから始まります。パンはもちろん、パイや誕生日のタルトやケーキも焼きます。パンを車に乗せて販売や配達。終わるとお店番と大忙し。可愛く礼儀正しくくまさんの一日をのぞいてみましょう。



ピーターのいす

E=ジャック=キーツ
さく
きしまはじめ やく
偕成社

キツ

お兄ちゃんになったピーターは、自分の使っていた家具が妹のためにピンクに塗り替えられていくことが、面白くありません。まだ塗られていないいすを持って家出を決心しますが、そのいすはもうピーターには小さすぎて……。子どもの成長を描いた絵本です。



ぼくにげちゃうよ

マーガレット・W・ブラウン
ぶん
クレメント・ハード え
いわたみみ やく
ほるぶ出版

ハト

家を出て、どこかに行きたくなくなった子うさぎ。子うさぎが魚になっても山の上の岩になっても、母さんは漁師になって登山家になって、おまえを追いかけますよ。だって、おまえはとっても可愛いわたしのぼうやだもの……。母親の愛情あふれるあたたかな絵本です。



ぼくはあるいたまっすぐまっすぐ

マーガレット・ワイス・ブラウン
坪井郁美 ぶん
林明子 え
ペンギン社

ハヤシ

おばあちゃんとの約束は「まっすぐ歩くこと。おうちがあったら中をのぞいてみる」でした。おばあちゃんの家までの道のりが、小さな男の子にとっては大冒険！たくさんのはじめてにドキドキ・ワクワクしながら、おばあちゃんの家を目指します。



ぼくはブルドーザー！

三浦太郎
こぐま社

ミウラ

働く車が大好きな男の子が、砂場にやってきました。今日はまだ、誰もいません。よし、大きなお城をつくるぞ！ブルドーザーのように砂を集めたり、ショベルカーのように砂を掘ったり……。手足を大きく使って、働く車になりきります。

ちょっとひとやすみ②

3歳くらいになると、子どもの活動範囲が広がります。それと同時に、楽しめる絵本も多くなっていきます。主人公を自分と置き換え、一体化する作業ができるようになると、絵本の世界に入り込み、物語をたっぶり楽しむことを覚えます。耳から**リズムカルな言葉**を聞き入れ、目からは**その場面を的確に物語っている絵**を読み取っています。さあ、じっくり楽しみましょう。





まるまるまるのほん

エルヴェ・デュレ さく
たにかわしゅんたるう
やく
ポブラ社

デュレ

真っ白なページに黄色い「まる」。この「まる」を押して次のページをめくると、「まる」が1つ増えちゃった！「まる」を押したり、こすったり。本を揺すったり、傾けたり、立たせたり。まるで生きているかのような「まる」を使って遊ぶ絵本です。



もこもこもこ

たにかわしゅんたるう さく
もとながさだまさ え
文研出版

モトナ

表紙を開いて目に入るのは、青い空と紫の地面に「しーん」とだけの文。やがて「もこ」と地面の一部が盛り上がり、その隣には新たに「によきによき」と生えてくるものが……。謎の物体の動きを擬音のみで表現。不思議な世界に引き込まれます。



よるくま

酒井 嗣子
偕成社

サカイ

男の子は、ベッドの中からお母さんに話しかけました。「ママあのね…きのうのよるね…」。昨夜、男の子の家によるくまという黒いくまの子がやってきたようです。お母さんぐまとはぐれてしまったよるくまと一緒に、お母さんを探す夜の冒険が始まります。ゆったりとしたお話は、就寝前におすすめの絵本です。



わたしのワンピース

にしまきかよこ えとぶん
こぐま社

ニシマ

真っ白なきれがふわふわと空から落ちてきました。「ミシン、カタカタ」。ウサギは、ミシンでワンピースを作ります。真っ白なワンピースを着て散歩に出かけると、花模様や水玉模様など、いろいろな模様に変身！わたしに似合うかしら？



わにさんどきつ はいしゃさんどきつ

五味太郎
偕成社

ゴミ

わにさんは遊んでいたいけど、虫歯を治さなければなりません。歯医者さんも遊んでいたいけど、治療なくてはなりません。診療室で顔を合わせる二人。「どきつ、どうしよう、こわいなあ、でもがんばるぞ」。立場の違う二人から同じセリフが飛び出します。



4・5歳くらいから 楽しめる絵本



……おはなしを楽しめるようになったら……
＝おすすめの85冊＝



雨、あめ

ピーター・スピア
評論社

スピア

姉弟が遊んでいると雨が降ってきました。急いで家に戻り、カップと長ぐつを履いて準備は万端。再び、雨が降りしきる庭へ遊びに出かけます。雨の中の動物を観察するなど、遊び回る姉弟の姿を一切の文章を使わず、イラストのみで描いたスピアの代表作です。



アンガスとあひる

マージョリー・フラック
さく・え
瀬田貞二 やく
福音館書店

フラツ

子犬のアンガスは、とても知りたがり。そんなアンガスが一番知りたいことは、生け垣の向こうの「ガー、ガー」というやましい音の正体です。ある日、ドアが開いているのに気づいたアンガスは、「それっ」と、おもてにとび出し、ついに向こう側に出たのです。



いたずらこねこ

バーナディン・クック ふん
レミイ・シャーリップ え
まさきりこ やく
福音館書店

シヤリ

小さな庭の小さな池に、小さなカメが住んでいます。となりの家には、とてもいたずら好きなこねこが住んでいました。庭をさんぽするカメに、用心しながら近づくこねこ。前足でカメをポンとたたきました。こねこの驚きが、鉛筆画で丁寧に描かれています。

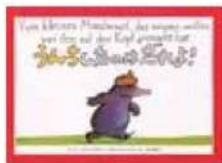


いちごばたけのちいさなおばあさん

わたりむつこ さく
中谷千代子 え
福音館書店

ナカタ

あおあおとした葉を広げ、星のような花が咲き、あおいいちごの実がなりました。そのいちご畑の土の中には、小さなおばあさんが住んでいます。おばあさんには、大切な仕事があります。いったいどんな仕事なのでしょう。



うんちしたのはだれよ！

ヴェルナー・ホルツヴァルト 文
ヴォルフ・エールブルッフ 絵
関口裕昭 訳
偕成社

エアル

ある日のこと、もぐらくんが地面から顔を出すと、事件が起きました。「だれだ、ぼくの頭にうんちなんかしたやつは？」さっそく、犯人探しに乗り出します。さて、うんちしたのはだれだったのでしょうか。



えんどうまめばあさんとそらまめじいさんのいそがしい毎日

松岡亨子 原案・文
降矢なな 文・絵
福音館書店

フリヤ

えんどうまめばあさんとそらまめじいさんは、毎日朝から晩まで働きます。そんな二人にひとつだけ困ったことがあります。それは何かをしていても、他にやりたいことが見つかると、すぐに始めないと気がすまないことです。二人の日常をのぞいてみましょう。



おおきいツリー ちいさいツリー

ロバート・バリー さく
光吉夏弥 やく
大日本図書

ハリ

もうすぐクリスマスです。ウィロビーさんのお屋敷に、見たことのない大きなクリスマスツリーが届けられました。しかし、大きすぎて天井につかえています。大きいから切って、大きいから切ってを繰り返して……。いったいどうなるのでしょうか？



おおきくなるっていうことは

中川ひろたか 文
村上康成 絵
童心社

ムラカ

大きくなるって、どんなこと？洋服が小さくなること、新しい歯が生えてくること、それからあんまり泣かないこと。他にもたくさんあるのです。これからどんどん大きくなって、できることが増えていくみんなへ贈るお話です。



おじいさんと10びきのおばけ

にしかわおさむ
ひかりのくに

ニシカ

ある日、おじいさんのふるいともだちからプレゼントが届きました。中身はなんと10びきのかわいいおばけたち。いたずらもしますが掃除がすきなおばけたちと一緒に生活していくうちに……。おじいさんと10びきのおばけのかわいさに心が温まる一冊です。

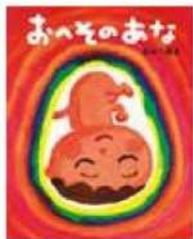


おふろだいすき

松岡亨子 作
林明子 絵
福音館書店

ハヤシ

ぼくとあひるのブッカがお風呂に入っていると、お湯の中からカメが現れました。続いてペンギン、オットセイ、カバやくじらがぞくぞく登場！みんなでたくさんお風呂で遊びます。とても気持ちよさそうで、お風呂に入りたくなる絵本です。



おへそのあな

長谷川義史
B.L出版

ハセカ

お腹の中の赤ちゃんが、お母さんのおへその穴から外をのぞくと、誕生を楽しみにしている家族の様子が見えました。赤ちゃんはおへその穴を通じて、風の音、鳥の声、花の咲く音まで感じています。お腹の中の赤ちゃんの気持ちがわかる一冊です。



おりこうな アニカ

エルサ・ベスコフ
さく・え
いしいとしこ やく
福音館書店

ヘスコ

アニカは自分のことは何でもできるおりこうな女の子。ある日、壊れた柵から牛が出ていかないよう、牧場で見張りをすることになります。牛は逃げ出そうとしますが、アニカは、出会った犬や小人に助けられます。スウェーデンの自然がのびやかに描かれています。



かいじゅうたち のいるところ

モーリス・センダック さく
じんぐうてるお やく
富山房

センタ

いたづらが過ぎて寝室に放り込まれたマックス。すると寝室が森や海に大変化！かいじゅうの島に流れ着き、大はしゃぎします。そのうち寂しくなり、かいじゅうたちと別れて寝室に戻ると……。ちょっぴり怖くて楽しい独特の世界が魅力です。



からすの パンやさん

かこさとし
偕成社

カコ

いずみがもりのからすのパンやさんに赤ちゃんが生まれました。子育てに追われた夫婦は、パンをこがしたり、半焼きを作ったりで、お客が減って貧乏に……。ところが、子どもたちのおやつにしていた売れ残ったパンが話題となって、パン屋は再び大人気に！

ちょっとひとやすみ③

「この本、読んで！」今夜もわが家の子どもたちは、昨日と同じ本を持ってきます。ここで「この本はもう読んだでしょ！」と言わずに、何度でも読んであげましょう。その子にとって新しい発見があったり、確認したいことがあったりと、子どもは読んでもらうたびに楽しんでいます。たとえ50回でも、100回でも……。大人にとって**も忘れられない1冊**になりますよ。





ガンピーさんの ななあそび

ジョン・パーニンガム さく
みつよしなつや やく
ほるぶ出版

ハニン

ガンピーさんが小舟で出かけると、子どもやうさぎ、犬などの様々な動物が次々に乗り込んできました。はて、ガンピーさんの言うことを聞いておとなしくしていただけるでしょうか。パーニンガム独特の筆遣いと暖かい色合いで描かれた優しい絵本です。



木はいいなあ

ユードリイ さく
シーモント え
さいおんじさちこ やく
偕成社

サイモ

「木はいいなあ」夏のそよ風の中ではっぱの口笛を聞き、秋になると、落葉遊びもできます。木には、ぶらんこがつけられるよ。子どもたちの目線で木のよいところをたくさん語ります。木の大切さや自然の豊かさが実感できる一冊です。



キャベツくん

長新太 文・絵
文研出版

チヨウ

はらぺこのブタヤマさんに食べられそうになったキャベツくん。「ぼくを食べるとキャベツになるよ」と言うと、空には鼻がキャベツになったブタヤマさんが浮かびます。ほかの生き物たちがキャベツくんを食べるとどうなるのかな？ゆかいなナンセンス絵本です。



きょうのごはん

加藤休ミ
偕成社

カトウ

夕方の商店街は、買い物客で賑わいます。一匹の猫が近所の家々をまわり、みんなの夕飯をチェック。それぞれの料理が、豊かな色彩でリアルに描かれています。絵本を読むと「今日のごはんはなあに？」と思わず聞きたくなります。



きよだいな きよだいな

長谷川 摂子 作
降矢 なな絵
福音館書店

フリヤ

「あったとさ、あったとさ」の言葉で、広い野原に巨大なものが次々に現れます。思いっきり遊ぶ100人の子どもと、それをじっとながめる子ぎつね。リズムカルな文と元気な絵が、心をわくわくさせる楽しい絵本です。



くまの コールテンくん

ドン=フリーマン さく
まつおかきょうこ やく
偕成社

フリマ

コールテンは、デパートのおもちゃ売り場に住むくまのぬいぐるみ。誰かに買ってもらえるのを待っています。ある日、女の子がコールテンを気に入りますが、服のボタンが取れていて買ってもらえません。コールテンは夜のデパートへボタンを探しに行きました。



くものすおやぶん とりものちょう

秋山あゆ子 さく
福音館書店

アキヤ

春祭りの前日、菓子屋ありがたやに、祭りのお菓子をねらうぬすつとから予告状が届きます。町の警護をするくものす親分は、蔵をくもの巣で守り、ぬすつとを待ち構えます。くものす親分とぬすつとの対決、結末はいかに!?



ぐりとぐら

なかがわりえこ と
おおむらゆりこ
福音館書店

オオム

野ねずみのぐりとぐらはお料理と食べることが大好き。ある日、森の奥へ材料集めに出かけ、大きな卵を見つけます。その卵を使って何を作のでしょうか。テンポよく紡がれるお話とおいしいそうなお料理の絵。一緒にお料理をしなくなってきますね。



ぐるんぱの ようちえん

西内ミナミ さく
堀内誠一 え
福音館書店

ホリウ

大きなぞうのぐるんぱは、森を出て町で働くことに。張り切って働くのですが、ぐるんぱの作る物が大きすぎて、働く先々でクビになってしまいます。そんな時ぐるんぱは、忙しいお母さんと12人の子どもたちに出会い、自分の居場所を見つけます。

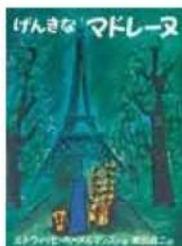


くんちゃんの だいいりょうこ

ドロシー・マリノ 文・絵
石井桃子 訳
岩波書店

マリノ

ある日、さんぼに出かけたこぐまのくんちゃんは渡り鳥たちに会い、南の国へ旅行してみたくなりました。両親をお願いをしていざ出発!でも、お母さんにさよならのキスをして来なかった事を思い出し……。お茶目なくんちゃんのゆかいなお話。



げんきなマドレーヌ

ルドウィッヒ・ベームルマンズ
作・画
瀬田貞二 訳
福音館書店

ヘメル

パリの寄宿学校で暮らす12人の女の子。中でもマドレーヌは、一番小さいけれどとても元気な女の子です。そんなマドレーヌが盲腸炎で入院しました。お見舞いに行った11人は、病室でおもちゃや人形、そして、マドレーヌの立派なお腹の傷を見てびっくり!



こすずめの ぼうけん

ルース・エインズワース 作
石井桃子 訳
堀内誠一 画
福音館書店

ホリウ

お母さんから飛び方を教わったこすずめ。羽をパタパタしてちゃんと飛べると、おもしろくなり、どんどん遠くへ行きました。やがて飛び疲れ、休む場所を探しますが、行く先々で他の鳥たちに断られ……。初めて親元を離れるドキドキした冒険心を味わえます。



こねこのびっち

ハンス・フィッシャー
文・絵
石井桃子 訳
岩波書店

フイツ

りぜっとおばあさんと一緒に住む5匹の子猫のうち一番小さいびっち。好奇心のかたまりで、おんどりのマネをしたり、やぎと遊んだり。あひるを追いかけて池に落ちたり、うさぎ小屋でけものに襲われそうになったり。びっちの大冒険のお話です。



このあいだに なにがあった？

佐藤雅彦＋
ユーフラテス
福音館書店

コノア

左の写真と右の写真を見比べてください。2枚の写真のあいだには一体何があったのでしょうか？ページをめくると、その答えがわかります。隠されている過程を推理したり、想像したりして色々考えるのが楽しい、ユニークな写真絵本です。



こんとあき

林明子 さく
福音館書店

ハヤシ

きつねのぬいぐるみのこんは、あきが赤ちゃんの時からいつも一緒。ある日、こんの腕がほころびてしまいました。さきゅうまちのおばあちゃんに直してもらうため、こんとあきは汽車に乗って出発。さあ、ハラハラドキドキの冒険の始まりです！



ジオジオのかんむり

岸田衿子 さく
中谷千代子 え
福音館書店

ナカタ

立派な冠を被った王様ライオンのジオジオは、年をとり、他の動物が怖がって近寄らないことを淋しく思うようになりました。ある日、ひょうやへびにとられたり、落としたりして卵を育てられないという小鳥の悩みを聞いたジオジオは、いい考えを思いつきます。



11ぴきのねこ

馬場のぼる
こぐま社

ハハ

いつもお腹を空かせている11ぴきのねこ。ある日おじいさんねこに、ずうっと向こうのみずうみに、大きな魚がいることを教えてもらい、みんなで力を合わせて捕まえることに。ところが大きな魚も手強くて……。驚きの結末に、思わず笑みがこぼれます。



14ひきのひっこし

いわむらかずお
童心社

イワム

ある秋の日、総勢14匹のネズミの家族が森の奥へお引越しに出発しました。岩を登り、川を渡り、ようやく新しいすみかを見つけ、家族全員で家作りを始めます。皆で助け合いながら完成した新しい家で食べる夕ごはんは格別です。大人気シリーズ1作目です。

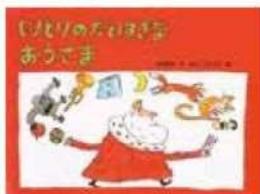


しょうぼうじどうしゃ じぶた

渡辺茂男 さく
山本忠敬 え
福音館書店

ヤマモ

じぶたは、ジープを改良して小さいポンプを付けた、ちびっこ消防車。消防署のすみで、他の消防車よりも活躍が目立たないことを、悲しく思っていました。そんなある日、山小屋が火事との知らせがきます。狭い山道を登れるのは、じぶただけ。さあ出動です！



しりとりのだいすきな おうさま

中村翔子 作
はたごうしろう 絵
鈴木出版

ハタ

何でもしりとりの順番にならないと気がすまない王様。夕食の料理も、家来たちは必死にしりとり順に出しますが、最後に好物のプリンが出てこないで王様は大激怒。家来たちは作戦を立て、次の朝食にはトマトから出すことを王様に提案します。



しんせつな ともだち

方軼羣 作
君島久子 訳
村山知義 画
福音館書店

ムラヤ

寒い雪の日、食べ物を探しに出かけたうさぎは、カブを2つ見つけることができました。そのうちの1つを、お腹を空かせているだろうと、ろばへ届けます。ろばは子やぎへ、子やぎは小鹿へ、次々と思いやりの心が届けられていく心温まるお話です。



スイミー

レオ=レオニ
谷川俊太郎 訳
好学社

レオニ

広い海で楽しく暮らす、小さな魚スイミー。きょうだいたちはみんな赤い色をしているのに、スイミーだけは真っ黒。でも、泳ぐのはだれよりも速かったのです。そんなある日、大きな魚がきて……。知恵を使って勇敢に立ち向かいます。

ちょっとひとやすみ ④

色彩豊かな絵本は、確かに目を引きまます。しかし、白黒の絵であっても、子どもたちの心をつかんで離さないものもあります。その絵が物語を語り、絵を見ただけで話の筋が読み取れるものです。**優れた画家といわれる人たちの絵は**、ページのすみずみまで子どもの目を、心を楽しませてくれます。





すてきな 三にんくみ

トミー＝アングラー さく
いまえよしとも やく
偕成社

ウンケ

黒マントに黒い帽子の三人組は、誰もが恐れるどろぼうです。ある夜、宝の代わりにティファニーという女の子を連れて帰ります。隠れ家で宝の山を見つけたティファニーに「これ、どうするの？」と聞かれた三人組は、すてきな使い道を考えました。



せんたく があちゃん

さとうわきこ さく・え
福音館書店

サトウ

洗濯の大好きなかあちゃん。今日もたらいでごしごし、家中の物をあっといいう間に洗って干していると、雲の上からかみなりさまが落ちてきました。かあちゃんは、かみなりさまもたらいに放り込み……。大らかでたくましかあちゃんを明るく描いたお話です。



ソーニヤの めんどり

フィービー・ウォール 作
なかがわちひろ 訳
くもん出版

ウォール

ソーニヤはお父さんからもらった三羽のひよこを大切に育てます。りっぱに育っためんどりが、ある日突然キツネに襲われます。悲しむソーニヤに、自然と命の繋がりについて、お父さんが優しく語ります。コラージュと色使いが美しい、親子で読みたい絵本です。



そらいろのたね

なかがわりえこ と
おおむらゆりこ
福音館書店

オオム

たからものの飛行機を、きつねの空色のたねと交換したゆうじ。たねを庭に埋め、水をかけると、次の日には小さな空色の家が出てきました。毎日大きくなっていく家に、動物や子どもたちが集まってきます。それを見たきつねは、飛行機を返すと言い出しました。



そらまめくんの ベッド

なかやみわ さく・え
福音館書店

ナカヤ

そらまめくんのたからものは、ふわふわのベッド。誰にも貸しません。そんなある日、ベッドが突然なくなります。たからもののベッドはどこにいったのでしょうか？ みんなの思いやりと、そらまめくんの心の変化が、私たち色を優しい気持ちにさせてくれます。



そりゃあもう いいひだったよ

荒井良二
小学館

アライ

ぬいぐるみのクマが、はじめてもらった手紙は本物のクマからでした。ぬいぐるみのクマは手紙の相手に会いに行きます。出会う人々や出来事に「そりゃあもう！」と全身で喜びを表すぬいぐるみのクマ。その前向きな姿と明るいタッチの絵に元気をもらえます。



ターちゃん と ペリカン

ドン・フリーマン さく
さいおんじさちこ やく
ほるぶ出版

フリマ

ターちゃんは今年の夏も砂浜にキャンプに来ました。そこで年をとったペリカンと再会し、魚取りをします。ところが、ターちゃんの新しい長靴が波にさらわれてしまいます。ターちゃん と ペリカンの温かい交流と、臨場感あふれる描写がお話の世界に引き込みます。



たのしい ふゆごもり

片山令子 作
片山健 絵
福音館書店

カタヤ

森の大きな木の根もとに、こぐまとおかあさんが住んでいました。こぐまはまだ一人で眠ることができません。ぬいぐるみがあれば眠れると、お母さんにぬいぐるみを作ってもらうことにしました。こぐまは無事に冬ごもりのできるでしょうか。



だるまちゃん と うさぎちゃん

加古里子 さく・え
福音館書店

カコ

雪がどっさり積もった日、だるまちゃん と だるまこちゃんは雪だるまを作りました。雪だるま用のりんごが転がり、坂の下でうさぎちゃんとうさぎこちゃんがとめてくれました。その後、色々なものでうさぎを作り遊びます。だるまちゃんシリーズ3作目です。



つきのぼうや

イブ・スバング・オルセン さく・え
やまのうちきよこ やく
福音館書店

オルセ

お月様が夜空にのぼりました。ふと下を見ると、池の中にもう一人のお月様がいました。お月様は友達になりたいと思い、つきのぼうやにもう一人のお月様を連れてきて欲しいと頼みます。つきのぼうやは無事に お月様を連れて帰ることが できるでしょうか。



てぶくろが いっぱい

フローレンス・スロポドキン エ
ルイス・スロポドキン 絵
三原泉 訳
偕成社

スロホ

ふたごのネッドとドニーはミシガンに住んでいます。ある冬の日、ドニーが手袋を片方落としてしまいました。それを知った人たちが、次々と拾った手袋を届けてくれますが、どれもドニーの手袋ではありません。届けられた手袋を持ち主に返すために、二人はある方法を思いつきます。

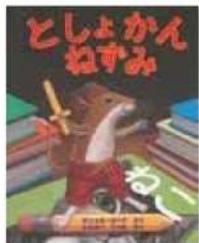


どうぞのいす

香山美子 作
柿本幸造 絵
ひさかたチャイルド

カキモ

うさぎさんは、作った小さな椅子を、「どうぞのいす」という立て札と一緒に、のほらの木の下に置きました。ろばさんがやってきて、どんぐりの入ったかごを「どうぞのいす」に置いて木の下で休みました。思いやりの心が繋いでゆくお話です。



としょかんねずみ

ダニエル・カーク さく
わたなべてつた やく
瑞雲舎

カク

サムは、図書館に住むねずみです。誰もいない夜は、思う存分本を読みます。ある夜、サムは自分で本を書いてみました。本棚に入れておいたサムの本は子ども達に大人気！そんな新人作家さんにお目にかかりたいと、図書館の館長さんからサムに手紙が届きます。



トラのじゅうたんに なりたかったトラ

ジェラルド・ローズ 文・絵
ふしみみさを 訳
岩波書店

ロス

インドのジャングルに住む痩せこけたトラは、宮殿に住んでごちそうを食べている王様一家をうらやましく思っていました。ある日、トラは、宮殿の庭に干してあるトラのじゅうたんと入れ替わる事を思いつきます。さて、トラの作戦はうまくいくのでしょうか？



どろんこハリー

ジーン・ジョン ふん
マーガレット・プロイ・グレアム え
わたなべしげお やく
福音館書店

クレア

黒いプチのある白い犬ハリーは、お風呂が大嫌い。ある日、お風呂にお湯を入れる音が聞こえたとたん家から逃げ出してしまいます。ところが、どろんこになって帰ってきたハリーに、家族は気づいてくれません。さて、ハリーはどうするのでしょうか？



どんなにきみが すきだか あててごらん

サム・マクブラットニー ふん
アニタ・ジェラーム え
小川仁央 やく
評論社

シエラ

仲良しの小さな茶色いチビウサギと、大きな茶色いデカウサギ。ある日、お互いにお互いがどれだけ「すぎ」か伝え合います。腕をグンと伸ばしたり、背伸びをしたり、高く飛び跳ねたり……。2匹のほのぼのした優しいかけ合いが温かく描かれています。



なつのいちにち

はたこうしろう
偕成社

ハタ

あつあつ夏の日、照りつける日差し、うるさいくらいセミの声。牛小屋の前は全速力、お宮の階段も一気に登る。谷川を飛び越えて、ぼくはぜったいクワガタムシをつかまえる！夏の音、夏の色、夏の匂い……。絵本の中にどこか懐かしい夏の日があります。



なまえのないねこ

竹下文子 文
町田尚子 絵
小峰書店

マチタ

ぼくはなまえのないねこ。だれにもなまえをつけてもらったことがない。お寺の猫に「じぶんですきななまえをつければ」と言われ、じぶんのなまえさがしに出かけます。ねこが見つけた「本当に欲しかったもの」とは……？優しく温かい気持ちになれる絵本です。

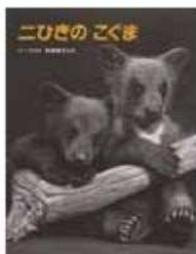


にじいろのさかな

マーカス・フィスター 作
谷川俊太郎 訳
講談社

フィス

美しい虹色のうろこを持つにじうお。他の魚たちはそのうろこを欲しがりますが、にじうおは誰にもあげません。そんな態度にみんなが離れてしまい、海中でひとりぼっちになってしまいます。にじうおは、どうすればしあわせになれるか、たこに教えてもらいます。



二ひきのこぐま

イーラ 作
松岡享子 訳
こぐま社

イーラ

生まれてはじめての春、外の世界はこぐまたちにとって楽しいものでいっぱいです。遊びに夢中で、家から遠く離れたことにも気づきません。高い木に登っても、家もお母さんも見えなくて……。こぐまたちのしぐさがなんとも可愛い、モノクロの写真的絵本です。



ねえ、どれがいい?

ジョン・バーニングム さく
まつかわまゆみ やく
評論社

ハニン

「ねえ、どれがいい?」と、思わず顔をゆがめてしまうものから、ふき出して笑ってしまうような奇想天外なものまで、次から次へと繰り広げられる問いかけに楽しい想像力が働きます。あなたなら何と答えますか?一人でもみんなでも楽しめる絵本です。



ぱくぱくはんぶん

渡辺鉄太 ふん
南伸坊 え
福音館書店

ミナミ

大きなケーキを焼いたおばあさんは、おじいさんに「半分残しておいてね」と言って出かけていきました。おじいさんは、言われたとおり半分残しますが、次々と動物がやってきては、ケーキを半分残して食べていきます。半分の半分を繰り返すおばあさんのケーキは、残るのでしょうか。

ちょっとひとやすみ⑤

ハラハラ・ドキドキのお話は、子どもたちみんなが大好きです。怖いお話も、自分を守ってくれる大人の膝の上なら大丈夫。思い切り冒険を楽しんで、**最も安心できる場所**に帰ってることができるからです。





はじめてのおつかい

筒井頼子 さく
林明子 え
福音館書店

ハヤシ

はじめてのおつかいを頼まれたみいちゃん。坂のてっぺんにあるお店に牛乳を買いにいきます。いつもお母さんと通る道ですが、一人だと不安と緊張でいっぱい。無事におつかいができるか、みいちゃんのドキドキする姿が、表情豊かに描かれています。



はたらきもの じょせつしゃ けいていー

ばーじにあ・りー・ばーとん
ぶんとうえ
いしいももこ やく
福音館書店

ハトン

強く大きいけいていーは、赤い立派なトラクター。夏はブルドーザーを付けて道を直し、冬は除雪車として働きます。ある日、大雪で誰も動けなくなってしまいました。さあ、けいていーの出番です！町の地図をたどって、活躍するけいていーを応援しましょう。

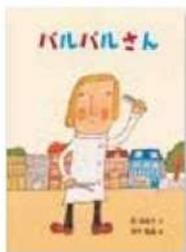


バムとケロの にちようび

島田ゆか
文溪堂

シマタ

せっかくの日曜日なのに天気は雨。仕方がないので、犬のバムはカエルのケロと家の中で過ごすことにしました。どろんこのケロとお風呂に入って、お部屋の掃除をして、おやつを作って……。二人なら退屈な雨の日だって、いろいろなアイデアで楽しく過ごせます。



バルバルさん

乾栄里子 文
西村敏雄 絵
福音館書店

ニシム

バルバルさんは、町はずれにある、小さなお店のとこやさん。今日は、変わったおきゃくさんがたくさんやって来るようです。たてがみがからまって困っているライオンや、髪の毛をはやしたいワニなど、個性的なおきゃくさんが次々と登場しますよ。



はろると むらさきのくれよん

クロケット・ジョンソン 作
岸田裕子 訳
文化出版局

シヨン

ある晩、はろるとは散歩がしたくなって、むらさきのクレヨンとでかけることにしました。はろるとは、むらさきのクレヨンで月夜の世界を次々と描き出していきます。はろるとむらさきのクレヨンの不思議な世界に、想像がふくらみます。



ふしぎな たけのこ

松野正子 さく
瀬川康男 え
福音館書店

セカワ

今日は、たるのたんじょう日。ごちそう用のたけのこを掘りに行きました。暑くなってぬいだ上着を、たけのこにかけたとたん、たけのこが急に伸びだしました。驚いたたるは、たけのこに飛びつきますが、たけのこは、ますます伸びていきます。



ふしぎな ナイフ

中村牧江 林健造
さく
福田隆義 え
福音館書店

フクタ

一見、どこにでもありそうな見た目のナイフ。ところが、ページをめくると、次々に形を変えていきます。まがる・われる・とける・ほどける。ちぢんで、ふくらんで……。思いがけない大変身が、不思議な世界を広げてくれます。



へいわと せんそう

たにかわしゅんたろう
ぶん
Noritake え
プロンズ新社

ノリタ

平和な時と戦争の時、確かに違うこの世界。でも、何が違うのだろうか？谷川俊太郎がその違いを教えてください。白と黒で描かれたページをめくると「へいわ」と「せんそう」の違いがひと目で分かります。そして、最後は少しの希望も見せてくれます。



ペレの あたらしいふく

エルサ・ベスコフ
さく・え
おのであゆりこ やく
福音館書店

ヘスコ

上着が短くなったペレは、自分で育てた子羊の毛を刈り取りました。その毛をおばあちゃんにすいて欲しいとお願いすると、その代わりに草取りをして欲しいと言われます。新しい服のために、ペレは次々と頼まれる仕事を、どれも一生懸命がんばります。



へんしんトンネル

あきやただし 作・絵
金の星社

アキヤ

ここにあるのは「へんしんトンネル」という不思議なトンネル。このトンネルをくぐると、色んなものに変身してしまいます。でも、よくよく聞いてみると実は言葉遊び。読み方のコツも教えてくれる、楽しくておもしろい言葉遊び絵本です。



ぼく、 だんごむし

得田之久 ぶん
たかはしきよし え
福音館書店

タカハ

身近で不思議な生き物、だんごむし。実は野原や林より人間が暮らしている所のほうが住みやすいって知っていましたか？だんごむし自らがその生態を分かりやすく教えてください。この本を読んだらあなたもきっとだんごむしを探しに行きたくなくなるはずですよ。

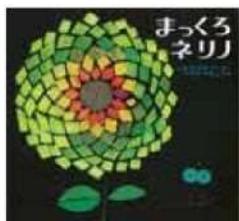


まあちゃんの ながいかみ

たかどのほうこ さく
福音館書店

タカト

長い髪が自慢の友達がもっと髪をのばすと聞いて、短いおっぱ髪をのばすまあちゃんは、自分ももっと長くのばすと話し始めます。まあちゃんの想像はどんどんふくらんでいき……。女の子が一度は憧れる長い髪についての楽しいおしゃべりのお話です。



まっくろネリノ

ヘルガ=ガルラー さく
やがわすみこ やく
偕成社

カルラ

綺麗な色の兄弟の中で一人だけ真っ黒な末っ子ネリノ。ネリノはいつも仲間はずれで独りぼっち。ある日、兄さん達が捕まってしまいます。夜、真っ黒なネリノは誰にも見つからず兄さん達を助けることができるのでしょうか。鮮やかなパステル画の美しい絵本です。



まほうのコップ

藤田千枝 原案
川島敏生 写真
長谷川摂子 文
福音館書店

カワシ

ガラスのコップに水を入れるだけで、魔法のコップの出来上がり。コップの後ろに色んなものを置くと……。あれれ？形が変わったり他の生き物に見えたり。本を読んだらぜひ試してみてください。大人も子どもも夢中になることまちがいないです。



まゆとおに

富安陽子 文
降矢なな 絵
福音館書店

フリヤ

ある日、山姥の娘まゆは、鬼に会います。鬼はまゆを食べようと嘘をつき、煮炊きの準備を始めます。そうとは知らず、まゆは準備を手伝います。まゆは食べられてしまうのでしょうか。まゆと腹ペコ鬼の愉快な話です。



めっきらもつきらどおんどん

長谷川摂子 作
ふりやなな 画
福音館書店

フリヤ

神社に来たかんたは友達が見つからず、大声ででたらめな歌を歌います。すると、木の穴から奇妙な声が聞こえてきて、覗き込んだかんたは穴に吸い込まれてしまいます。そこには愉快な化け物たちがおり、楽しく遊ぶかんたでしたが……。声に出して読みたい絵本です。



もりのおくのおちやかいへ

みやこしあきこ
偕成社

ミヤコ

ケーキを持って行くのを忘れてしまったお父さんを追いかけて、おばあちゃんの家へと向かうキッコちゃん。ところが、彼女が追いかけていたのは、くまでした。くまの入っていった家のをそいでみたキッコちゃんは、動物たちのお茶会にお呼ばれます。

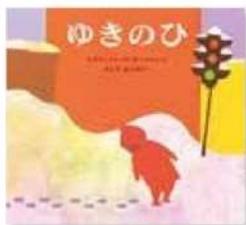


もりのかくれんぼう

末吉暁子 作
林明子 絵
偕成社

ハヤシ

公園からの帰り道、お兄ちゃんを追っていたけいこは、見たこともない金色にけむった秋の森に迷い込んでしまいます。心細くなって大声で歌い始めると、どこからか男の子が現れて、かくれんぼに誘われます。かくし絵で、かくれんぼと一緒に楽しめる絵本です。



ゆきのひ

エズラ=ジャック=キーツ
ぶん・え
きじまはじめ やく
偕成社

キツ

冬のある朝、ピーターが目をさまし窓の外を見ると、どこを見ても雪が積もっていました。ピーターは、マントを着て外に飛び出し雪だるまを作ったりして、一日中大はしゃぎ。その夜ピーターが見た夢は……。切り絵や貼り紙で描かれた色鮮やかな絵本です。



よかったね ネットくん

シャーリップ さく
やぎたよしこ やく
偕成社

シヤリ

びっくりパーティに招待され、飛行機でフロリダへ向かったネットくん。道中はピンチの連続です。しかし、ネットくんは運の良さで次々と乗り越えていきます。いいこと、悪いことにドキドキしながらテンポよく楽しめるお話です。



ラチとらいおん

マレーク・ペロニカ
ぶん・え
とくながやすもと やく
福音館書店

マレク

とても弱虫な男の子、ラチ。ある朝、目が覚めるとベットのそばに小さな赤いライオンが現れました。こんなちっぽけなライオンじゃ何の役に立たない、というラチにライオンは……。ライオンの力を借りて、ラチが少しずつたのもしく成長していきます。



りんごかも しれない

ヨシタケシンスケ
ブロンズ新社

ヨシタ

ある日、学校から帰ってくるとテーブルの上にりんごがおいてあった。でも……もしかしたらりんごじゃないかもしれない。大きなサクランボの一部だったり、実は何かのタマゴかもしれない……。『～かもしれない』から始まる発想の展開が楽しい絵本です。

ちょっとひとやすみ ⑥

いろいろな分野の本を読んであげていたつもりなのに、絵本の好みが出てくることに驚かされます。うちの子は車の絵本が大好き。何年もの間、宝物のようにどこへ行くにも一緒に、じっと見ていた絵本が『はたらくじどうしゃ』でした。しっかりと描きこまれた車たちに、大人も学ぶところがあります。子どもの**好奇心や興味を知り、疑問と発見、そして驚きを、共感してください。**



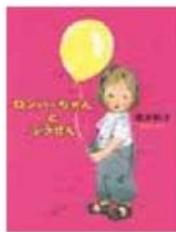


ロージーのおさんぽ

バット=ハッチンス さく
わたなべしげお やく
偕成社

ハツチ

めんどりのロージーがお散歩にお出かけすると、ずるがしこそうなきつねが、ロージーを狙って後ろから追いかけてきました。気づかず歩いて行くロージーの後ろで、不運な失敗を繰り返すきつね。対照的な2匹がユーモラスに描かれています。



ロンパーちゃんとふうせん

酒井駒子
白泉社

サカイ

ロンパーちゃんは街で黄色い風船をもらいました。風船と一緒にままごとをして遊んでいると、「ピュー！」と風が吹いて風船は木の上へ……。風船のことを、友だちや兄弟のように大切に思っているロンパーちゃんのやさしい気持ちが伝わってくる作品です。



わゴムはどのくらいのびるかしら?

マイク・サーラー ぶん
ジェリー・ジョイナー え
きしだえりこ やく
ほるぶ出版

シヨイ

ある日、ぼうやは、わゴムがどのくらいのびるのか、ためしてみることにしました。ベッドの枠にわゴムをかけて外へ出て、自転車、バス、汽車等次々に乗り換えていきます。わゴムは、どんどのびていき……。いったいどこまでのびるでしょうか?

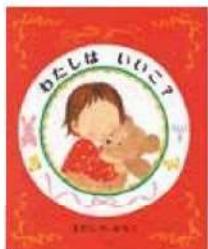


わたしとあそんで

マリー・ホール・エッツ ぶん・え
よだ・じゅんいち やく
福音館書店

エッツ

朝日が昇ったはらっぱに、女の子が遊びに行きました。女の子は「遊びましょ。」と、ばったさんやりすさんたちを誘いますが、皆逃げてしまいます。誰も遊んでくれないので、女の子は池のそばに座りました。すると、ばったさんたちが少しずつ戻ってきました。



わたしはいいこ?

えがしらみちこ 作
小学館

エカシ

「いいこってなんだろう?」と考えながら頑張る女の子。ある日、いいこでいることに疲れてしまい、ママに「わたしは、いいこ?」とたずねました。ありのままの自分を抱きしめてもらって、心からほっとした女の子の表情にあたたかい気持ちになります。



6歳くらいから 楽しめる絵本



……長いお話を聞けるようになったら……
＝おすすめの62冊＝



アンナの 赤いオーバー

ハリエット・ジーフェルト
ぶん
アニタ・ローベル え
松川真弓 やく
評論社

□ヘル

「戦争がおわったら、新しいオーバーを買ってあげようね。」と、お母さんは言いましたが、戦争が終わっても、お店には何もありません。お母さんは知恵を絞って、家の金時計と羊毛を交換してオーバーを作ることになりました。オーバーは無事に出来るでしょうか。



いたずらきかんしゃ ちゅうちゅう

バージニア・リー・バートン
ぶん・え
むらおかはなこ やく
福音館書店

ハトン

ちゅうちゅうは、きれいなかわいい機関車。客車や貨車を引っばって、駅から駅へ走っています。ある日、「客車や貨車を引かずに走ったら、もっと速く走れるんだ。」と思い、ひとりで走りだしました。それに気づいた車掌さんたちは、慌てて追いかけます。



ウエズレーの国

ポール・フライシュマン
作
ケビン・ホクス 絵
千葉茂樹 訳
あずなる書房

ホクス

他の子と違う髪型や食事等を好むウエズレーには、友人がいません。「夏休みの自由研究に自分だけの作物を育てて、自分だけの文明を作ろう。」とひらめいたウエズレー。自分だけの服やゲーム、言語等を作ると、他の子たちもそれに興味を持ち始めました。



ウミガメ ものがたり

鈴木まもる 作・絵
童心社

ススキ

誰もいない夏の砂浜に、ウミガメのお母さんが穴を掘り、卵を産みます。お母さんは卵を埋めると海へと帰ります。60日位経つと、子ガメが生まれ、海を目指しますが、色々な生き物が襲ってきます。子ガメは無事に育って生まれた浜に帰ってくるでしょうか。



エイモスさんが かぜをひくと

フィリップ・C・ステッド
文
エリン・E・ステッド
絵
青山南 訳
光村教育図書

ステツ

動物園で働くエイモスさん。毎日時間をつくり、おともだちの動物たちに会いに行きます。ある日、エイモスさんは風邪で動物園をお休みします。来ないエイモスさんのことが気になってしかたがない動物たち。いったいどのような一日をすごすのでしょうか。



王さまライオンの ケーキ

マシュー・マケリゴット
作・絵
野口絵美 訳
徳間書店

マケリ

王さまライオンは、毎年動物たちを招いて食事会を開きます。食事が終わり、デザートに大きなケーキが出てきました。王さまが、自分の分を取って隣にまわすようにいうと、動物たちは半分ずつ取ってまわしました。半分の半分、倍の倍が楽しくわかる本です。



おかあさんが おかあさん になった日

長野ヒデ子 作
童心社

ナカノ

「赤ちゃん、こんにちは、おかあさんよ。あなたのおかげで、わたしはおかあさんになれたのよ」。入院してから、赤ちゃんが生まれてくるまでの待ち遠しい様子が描かれています。おかあさんがおかあさんになった日、それはあなたの生まれた日なのです。



おこだでません ように

くすのきしげのり 作
石井聖岳 絵
小学館

イシイ

ぼくは家でも学校でもいつもおこられる。本当はほめて欲しいのに、お母さんも先生もぼくを見るときは怒った顔。どうしたらほめてもらえるだろう。七夕の日、みんなは短冊に夢をかく中、ぼくは何をお願いしたのでしょか。



おしゃべりな たまごやき

寺村輝大 作
長新太 画
福音館書店

チヨウ

晩ごはんのおかずは「めだまやきにしてくれ」と王さま。ある日王さまは、お城のわきのにわとり小屋を見つけ、にわとりを助けようと戸をあけてしまいます。にわとりが一斉に飛び出して、お城は大騒ぎ！みんなが犯人さがしをはじめます。



おにたのぼうし

あまなみきこ 文
いわざきちひろ 絵
ポプラ社

イワサ

小さなくろおにの子おにたは、節分の夜につのかくしの帽子をかぶり、住んでいた物置小屋から出ていきました。豆においもせず、ひいらぎもない家を見つけて入り込むと……。『おににもいろいろあるのにな』という、おにたの切ない言葉が心に染みます。



かたあしだちょうのエルフ

おのきがく 文・絵
ポプラ社

オノキ

若くて強くて、すばらしく大きなだちょうのエルフは、くさはらの人気者。ある日、みんなを守るためにライオンとたたかい、大切な片足を失います。一本足になってもなお、最後まで仲間を守ったやさしいエルフの物語が、迫力ある木版画で描かれています。



かべのむこうになにがある？

ブリッタ・テッケントラップ
作
風木一人 訳
B.L.出版

テツケ

大きな赤い壁に囲まれたところに住む、知りたがりのねずみ。「かべのむこうになにがあるの？」と、いろいろな動物に聞いてもみんな無関心。ある日、ねずみは勇気を出し壁を越えて来た鳥の背中に乗り、外の世界へ……。そこにはいったい何が見えたのでしょうか。



かもさんおとおり

ロバート・マックロスキー
ぶんとうえ
わたなべしげお やく
福音館書店

マツク

かものマラードさんとその奥さんは、巣をつくる場所をチャールズ川に見つけます。ある日、奥さんと8羽の子どもたちは公園まで出かけることになり……。いきいきと描かれたかもの家族と、一家を見守るおまわりさんの優しさが心温まる作品です。



木

佐藤忠良 画
木島始 文
福音館書店

サトウ

大地をつかみ水を吸い上げる根っこ、空に伸びる枝、木のこぶこぶなど、長い間立ち続けるたくましい老木を写実的に描いています。迫力あるデッサンと、木に語りかけるような優しい言葉で描かれ、大きく広がるページも見事です。

ちょっとひとやすみ⑦

「子育てしていて一番良かったことは、絵本の読み聞かせをしたことでした」とおっしゃる方がいます。子どもが成長する過程で、大人が子どもに寄り添い、お互いの表情を見ながら、気持ちの揺れを感じながら、**共通の体験**ができるもので、読み聞かせに勝るものはないでしょう。自分が子どもの頃に読んでもらった絵本を、今度は子どもに読んであげる…そんな世代の流れを体験できるのも、絵本の素晴らしいところです。



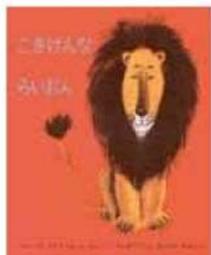


皇帝にもらった 花のたね

テミ 作・絵
武本佳奈絵 訳
徳間書店

テミ

昔、皇帝が国中の子どもに、花の種を育てて一年後に見せに来ようおふれをだしました。そして、その子どもの中からおよつぎを選ぶと言いました。花の好きな男の子ピンも挑戦しますが、芽は出てこなくて……。勇氣と誠実さを考えさせてくれる絵本です。



ごきげんならいおん

ルイズ・ファティオ ぶん
ロジャー・デュボアザン え
むらおかはなこ やく
福音館書店

テコホ

動物園で暮らすごきげんなライオンは、街の人気者。ある日、小屋の扉が開いていたので、自分から街の人たちに会いに行きますが、怖がられて大騒ぎになってしまいます。でも飼育係の息子フランソワだけは、いつもと同じように挨拶してくれました。



このほん よんでくれ!

ベネディクト・カルボネリ 文 絵
ミカエル・ドゥリュリュウ
ほむらひるし 訳
クレヨンハウス

トウリ

たまたま見た絵本の続きがしりたいオオカミ。でも字が読めません。読んでほしいのに、みんな逃げてしまいます。おそろおそろウサギが読んであげると「もうっかい!もうっかい!」オオカミは絵本に夢中になります。本を読む楽しさにあふれた絵本です。



この世でいちばん すばらしい馬

チェン・ジャンホン
作・絵
平岡敦 訳
徳間書店

チエン

貧しいけれど絵を描くのが好きな少年アン・ガンは、出前に行った先で地面に描いた馬を画家に認められました。彼の描く馬は、いまにも動き出しそうで評判になりますが、ある日武将のために描いた馬が絵から飛び出してしまう。馬はどうなるのでしょうか。



じごくのそうべえ

桂米朝・上方落語・
地獄八景より
たじまゆきひこ 作
童心社

タシマ

軽業師のそうべえ、歯抜き師のしかい、医者のおちくあんと山伏のふっかが地獄に落ちて、おそろしい鬼やえんま大王を相手に大暴れ!上方落語『地獄八景亡者戯(じごくばっけいもうじゃのたわむれ)』を元にした、涙が出るほど笑えるゆかいなお話です。



字のないはがき

向田邦子 原作
角田光代 文
西加奈子 絵
小学館

ニシ

太平洋戦争中、学童を都会から田舎へ避難させる学童疎開が行われました。妹は遠足気分で出発しました。でも、だんだんと安否のハガキが届かなくなりました。戦争とは、こんなに悲しいことなのだと感じる実際にあった家族のおはなしです。



じゅげむ

川端誠
クレヨンハウス

カワハ

生まれた男の子にめでたい名前をつけようと、お寺の和尚さんに相談したら、選びきれずにとても長い名前になってしまいました。有名な落語『じゅげむ』の絵本。「じゅげむじゅげむ、ごころのすりきれ、かいじやりすいぎよ……」あなたは言えますか？



しろいうさぎとくろいうさぎ

ガース・ウイリアムズ
ぶん・え
まつおかきょうこ やく
福音館書店

ウイリ

森に住むしろいうさぎとくろいうさぎは、毎日楽しく遊んでいました。ある日、くろいうさぎがととても悲しそうな顔をするので、しろいうさぎは「どうしたの？」と聞きました。くろいうさぎの考え事とは？幸せな気持ちになれる、仲良しうさぎのお話です。



じんべえざめ

新宮晋
文化学園文化出版局

シンク

この地球で生きている一番大きな魚、じんべえざめ。光あふれる青い海の中、他の魚たちと一緒にゆうゆうと泳ぐじんべえざめの姿を、様々な角度から描いています。英語が併記されています。



ずーっとずっとだいすきだよ

ハンス・ウィルヘルム
えとぶん
久山太市 やく
評論社

ウイリ

ぼくと一緒に大きくなった犬のエルフィー。でも、いつしかエルフィーは年をとって、寝ていることが多くなり、散歩を嫌がるようになりました。それでもぼくは、必ず寝る前に言ってあげました。「エルフィー、ずーっと、だいすきだよ」と。



せかいいちうつくしいぼくの村

小林豊
ポプラ社

コハヤ

春には花であふれ、夏には果物のかおりに包まれるバグマンの村。ヤモは、戦争に行った兄さんのかわりに父さんと果物を売りに町へ行きました。夜、町から戻ったヤモは、村の懐かしい匂いに気づきます。村の美しさに平和への祈りがこめられています。



せかいいちまじめなレストラン

たしるちさと
ほるぷ出版

タシロ

このお店はせかいいちまじめなレストラン。まじめなイタメーニョさんは、注文が入ってから新鮮な食材をそろえにいきまです。チリン、チリン、次はどんなお客さんが来るのでしょうか。愛情たっぷりのお料理のように心あたたまる絵本です。



せかいのひとびと

ピーター・スピーアー えとぶん
松川真弓 やく
評論社

スピア

地球には、どんな人たちが暮らしているのでしょうか？世界には様々な国があり、それぞれに文化や言語、風習などの違いがあります。また、見た目や考え方も人それぞれです。すみずみまで描かれた絵とともに広い世界を一周してみましょう。



戦争をやめた人たち

1914年のクリスマス休戦

鈴木まもる 文・絵
あすなる書房

ススキ

第一次世界大戦中のクリスマス・イブの夜、鉄条網の境界線を越えて、クリスマスの歌が聞こえてきます。翌日、イギリス軍とドイツ軍は共にクリスマスを祝い、サッカーをします。子どものように走る人々の顔には笑顔が戻り、暗かった空には色がかわります。



ソメコとオニ

斎藤隆介 作
滝平二郎 絵
岩崎書店

タキタ

ソメコは遊びたいのに、大人たちはちっとも遊んでくれません。ある日、いくらでも遊んでくれるこわい顔をしたおじさんが現れます。ソメコの遊びたい欲求に振り回されてしまうおじさんは、ソメコと楽しく遊ぶことが出来たのでしょうか？



ちいさいおうち

ばーじにあーりー・ばーとん
ぶんとえ
いしいももこ やく
岩波書店

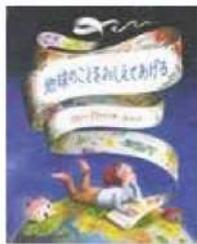
ハトン

むかしむかし、ずっと田舎の静かなところにちいさいおうちがありました。自然に囲まれていたおうちの周りには、次第に道路や大きな建物ができるようになりました。時が流れ、変わっていく風景と変わらずそこにあるちいさいおうちの姿を描いています。

ちょっとひとやすみ ⑧

言葉の大切さが再認識されています。読み聞かせは、言語を取得する力が伸び始める頃に、耳から聞いて言葉を身につけることができます。絵本には**選りすぐりの言葉**が並んでいます。たくさんの言葉を身につけた子どもは、自分の気持ちを的確に表現できる青少年に成長していきます。さらに、言葉と一緒に、大人のおふれる愛情も子どもの心に届いています。





地球のことをおしえてあげる

ソフィー・ブラッコール
横山和江 訳
すずぎ出版

フラツ

「宇宙からくる、だれかさんへ。地球がどんなところかしってる？」地球はどこにあるのか、どんな人が住んでいて、どんな動物がいるのかなど、ぼくは地球のあらゆることについて語りかけます。自分がどんな星に住んでいるのか、知るきっかけになる絵本です。



月夜のみみずく

ヨーレン 詩
くどうなおこ 訳
ショーエンハール 絵
偕成社

シヨエ

静かな冬の夜ふけに、父さんとわたしはみみずくを探しに出かけました。雪を踏みしめ、森に向かって歩いていきます。父さんは「ほうーほう ほ・ほ・ほ ほーーう」と呼びかけます。美しい風景描写と、みみずくとのお会いに惹き込まれます。



手ぶくろを買いに

新美南吉 作
黒井健 絵
偕成社

クロイ

冬が来て、子ぎつねに手袋が必要になりました。手袋は人間の店にあります。母ぎつねは、子ぎつねの片手を人間の手に変え、必ず人間の方の手を出して買い物をするように言い聞かせます。しかし、子ぎつねは間違えて、店でぎつねの手を出してしまいました。



としょかんライオン

ミシェル・ヌードセン さく
ケビン・ホークス え
福本友美子 やく
岩崎書店

ホクス

ある日、図書館にライオンがやって来ました。決まりを守れば誰でも図書館に来てもいいと言う、メリウェザー館長。お行儀のよいやさしいライオンは、たちまち図書館の人気者になります。ところがあるとき、ライオンは図書館の決まりを破ってしまいます。



とべバッタ

田鳥征三
偕成社

タシマ

小さな茂みの中で、びくびくしながら暮らしていたバッタ。ある日、そんな生き方が嫌になり、大きな石の上でゆうゆうと日向ぼっこをすることにします。へびやカマキリが襲って来た時、ついに外の世界へ飛び出しました。力強いバッタの姿が印象に残ります。



ともだちや

内田麟太郎 作
隆矢なな 絵
偕成社

フリヤ

ある日、さびしがり屋のキツネは「ともだちやさん」を始めることにしました。お金をもらって、友だちになってあげるのです。キツネは友だちをつくれるのでしょうか。「友だちっていいな」と思わせてくれる「おれたち、ともだち」シリーズの第1作目です。



どろんこごぶた

アーノルド・ローベル 作
岸田衿子 訳
文化出版局

ローベル

お百姓さんの家のこぶたは、やわらかいどろんこの中に座りこんで、沈んでゆくことが大好き。ところがある日、どろんこを掃除されてしまいます。怒ったこぶたは、どろんこ探しの旅に出かけます。愛らしいこぶたの冒険に、思わず笑みがこぼれます。



どんなかんじかなあ

中山千夏 ぶん
和田誠 え
自由国民社

ワタ

友だちのまりちゃんは、目が見えない。見えなくて、どんな感じかなあ？ひろくんは、しばらく目をつぶってみることにしました。すると、たくさんの音が聞こえてきました。見えなくてすごいんだね。ひろくんは、いろいろなことを感じていきます。



ないしょのおともだち

ビバリー・ドノフリオ 文
バーバラ・マクリントック 絵
福本友美子 訳
ほるぶ出版

マクリ

大きな家に住むマリーと、その家の隅にある小さな家に住むネズミ。ある日、お互いの存在に気づいた2人は内緒のお友達になります。成長し、家を出て会えなくなりますが、いつのまにかそれぞれお母さんになっていました。今度は2人の娘に出会いが訪れます。



ないたあかおに

はまだひろすけ ぶん
いけだたつお え
偕成社

イケタ

優しい赤鬼は、人間たちと仲良くなりたいたいと思います。そこで友達の青鬼は、赤鬼のために悪役を演じ、赤鬼の願いを叶えてあげました。赤鬼は村人に感謝されますが、青鬼は姿を消してしまいます。思いやりや友情について深く考えさせられる一冊です。



中をそうぞうしてみよ

佐藤雅彦＋
ユーフラテス
福音館書店

ナカオ

X線写真を使って、椅子や貯金箱、赤青鉛筆など身近なものを透視します。中がどうなっているんだろうと好奇心がすぐられワクワクしてきます。自分が想像した通りだったのか、違っていたのか。ページをめくるたびに、驚きと発見が待っています。



二平方メートルの世界で

はたこうしろう 絵
前田海音 文
小学館

ハタ

病気治療のため3歳から入退院を繰り返している小学3年生の海音さん。いろいろな人が、それぞれの思いを抱えていることを知っている彼女は、たくさんの言葉を飲みこみます。そんな彼女がベッドの上で見つけたのは……。海音さんの思いが詰まった1冊です。



花さき山

斎藤隆介 作
滝平二郎 絵
岩崎書店

タキタ

山んばが住む山の中に女の子がひとり、祭りに使うための山菜を取りにやってきます。山菜を探して山の奥へ奥へと道に迷ってしまった女の子の前に、見たこともないきれいな花が一面に咲いていました。山んばは、この花が咲く理由を話し始めます。



はるがきた

ジーン・ジオン 文
マーガレット・プロイ・グレアム 絵
こみやゆう 訳
主婦の友社

クレア

待ち遠しい春はすぐそこなのに、なかなかやってきません。それなら、町中を春の景色にしようという男の子の提案に、町の人々は絵を描き始めます。ところが、春一色に塗り替えられた町に雨が降り出し……。全てのものが目覚め輝く春は、喜びも運んでくれます。



ピーターラビットの おはなし

ビアトリクス・ポター 作・絵
川上未映子 訳
早川書房

ホタ

ピーターは、いたずらっこの小さなうさぎ。行ってはいけないと言われていた、マクレガーさんの畑に入ってしまう。パセリを探していたところ、ばったりでくわしたのは、なんと、マクレガーさん！ピーターとマクレガーさんの追いかっけが始まります。



1つぶのおこめ さんすうの むかしばなし

デミ 作
さくまゆみこ 訳
光村教育図書

デミ

インドの算数の昔話。おうさまからのごほうびにラーニは1つぶのおこめをお願いしました。おうさまは1つぶでは少なすぎると言い、そこで前の日の倍の数だけおこめをもらうことになりました。30日後には何つぶのおこめになったでしょう？

ちょっとひとやすみ ⑨

すぐれた絵本を選ぶ目安のひとつに、“**二十歳（はたち）を迎えた絵本**”というものがあります。出版されてから20年以上経つものという意味です。出版社は、売れない絵本はすぐに絶版にしてしまいます。そのような中で、長い間発行され続けたということは、売れた、つまり子どもたちに喜ばれ、選ばれ続けているということです。本の最後のページに奥付が表示されていますのでぜひ見てください。





ひみつの カレーライス

井上荒野 作
田中清代 絵
アリス館

タナカ

フミオは、カレーライスが大好き。今日も家族みんなで食べていると、かりっと音がして、フミオの口の中から小さな黒いつぶがひとつ出てきました。それは、世にも珍しいカレーの種。お父さんは、庭のまんなかに丁寧にカレーの種を植えました。



100万回 生きたねこ

佐野洋子 作・絵
講談社

サノ

100万回も死んで、100万回も生きたねこは、だれよりも自分が好きでした。ある日、いつまでも一緒に生きていたいと思う白いねこに出会い、ねこは初めて自分より大事なものがあることを知りました。



ヒロシマ 消えたかぞく

指田和
鈴木六郎 写真
ポプラ社

ススキ

戦争中の広島で暮らしていた六人家族のアルバム。どの写真も明るい笑顔にあふれて幸せそう。しかし、1945年8月6日。この、幸せそうな家族はいなくなってしまうのです。戦争の恐ろしさ、平和について考える絵本です。



ふたりはともだち

アーノルド・ローベル 作
三木卓 訳
文化出版局

ロヘル

友だちのがまくんが、今まで一度も手紙をもらったことがないと知ったかえるくん。急いで家に帰り、がまくんへの手紙を書き、かたつむりに配達を頼みました。ふたりは幸せな気持ちで、届くのを待ちます。「おてがみ」他4編を収録しています。



ぼくだけのこと

森絵都 作
スギヤマカナヨ 絵
借成社

スキヤ

兄弟の中でえくぼがあるのは、ちょっとうれしいぼくだけのこと。蚊にさされやすいのは、ちょっと困ったぼくだけのこと。仲間の中で逆立ち歩きできるのは、ちょっと得意なぼくだけのこと。「ぼく」は、日本中でひとり。世界中でもただひとり。



ぼくのかえりみち

ひがしちから
B L 出版

ヒカシ

そらくんは、学校から家まで白線の上を歩いて帰ることにしました。とんぼに誘われても、ザリガニに誘われても、「また今度」。あともう少しで家に着くという時、そらくんに最大の試練が訪れます。家に帰るためには、どうすればいいのでしょうか。



ぼくは なきました

くすのきしげのり さく
石井聖岳 え
東洋館出版社

イシイ

参観日に、自分のいいところを発表することになっていっぱい考えたけれど、おかあさんには怒られてばかりいるし、思いうかぶのは友だちのいいところばかり。泣きそうになっていると、先生がぼくのいいところをそっとやさしくおしえてくれました。



ぼくは川のように 話す

ジョーダン・スコット 文
シドニー・スミス 絵
原田勝 訳
偕成社

スミス

主人公の「ぼく」は、吃音のある著者自身の子どもごころの姿。流れるように話すことが出来ないぼくは、川を見ながら考える。川の流れるは、泡立ったり、渦巻いたり、波打ったり。美しい川の光景がぼくを勇気づけます。

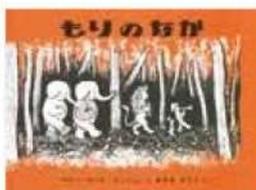


みんなとおなじく できないよ 障がいのあるおとうとと ボクのはなし

湯浅正太 作
石井聖岳 絵
日本図書センター

イシイ

ボクのおとうとには障がいがある。おとうとのことは好き。でも、みんなと同じようにできない姿をみていると、ボクのこころはグチャグチャになる。ボクは、どんな気持ちでいればいいんだろう？「きょうだい児」の心の葛藤を描いたお話です。



もりのなか

マリー・ホール・エッツ
ぶん・え
まさきるりこ やく
福音館書店

エッツ

紙のぼうしをかぶり、新しいラッパを吹きながら森のおくへ散歩に出かけたぼく。ライオンやぞう、くまなど、次々と動物たちが出てきて、列を作って散歩についてきました。みんなで楽しく遊ぶのですが、かくれんぼの途中で、動物たちは消えてしまします。

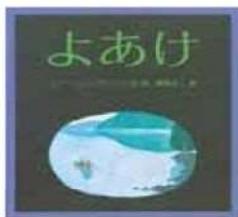


やさいのおにたいじ

つるたようこ さく
福音館書店

ツルタ

野菜たちの暮らす京の都。こんやくいもの鬼にお姫さまがさらわれた！鬼退治に立ち上がったのは六人の京野菜。果たして無事にお姫さまを助け出せるのでしょうか？「酒呑童子」の伝説を基にしたお話です。



よあけ

ユリー・シュルヴィッツ
作・画
瀬田貞二 訳
福音館書店

シユル

物音ひとつしない真夜中。次第に夜明けが近づいてきます。そんな静かな夜明けの様子が、淡々と語られています。ページをめくるたびに景色が明るさを増していき、青の淡い色調の絵は、まるで実際の夜明けを見ているようです。



りんごのき

エドアルド・ベチシカ ぶん
ヘレナ・ズマトリーコバー
え
うちだりさこ やく
福音館書店

スマト

雪が積もったある日、マルチンは棒のよ
うなりんごの木を見つけました。春も夏も、
マルチンは友だちとおしゃべりするように
りんごの木に話しかけます。とうとう秋に
なり、真っ赤なりんごの実がなりました。
四季の移り変わりが美しく描かれている絵
本です。



ルピナスさん 小さなおばあさんの お話

バーバラ・クーニー さく
かけがわやすこ やく
ほるぶ出版

クーニ

世界中を旅して、おばあさんになったら
海のそばに住むとおじいさんに約束したと
おり、海辺の町に住んでいるルピナスさん。
世の中を美しくするというもうひとつの約
束を、どんなふうにも果たしたのでしょ
う。ひとりの女性の生き方を美しい絵で描
いています。



ルリユール おじさん

いせひでこ 作
講談社

イセ

ソフィーが大切にしている植物図鑑が、
壊れてしまいました。町の人に「ルリユ
ールのところに行ってごらん。」と教えても
らい、ソフィーは路地裏にある小さな店を
訪ねました。おじさんは、木のこぶのよ
うな手でソフィーの図鑑を生まれ変わら
せていきます。



ロバの シルベスターと まほうの小石

ウィリアム・スタイグ さく
せたていじ やく
評論社

スタイ

ある雨の日、ロバのシルベスターは願
いを叶えてくれる魔法の小石を見つけま
した。そこへライオンが現れて、驚いた
シルベスターはうっかり岩になりたいと
お願いしてしまいました。シルベスター
はロバの姿に戻って、お父さんお母
さんと再会できるでしょうか。

ちょっとひとやすみ 10

字を覚え始めたら、そこで読み聞かせは終了だ
と思いませんか。一人で絵本の字を追って、たど
たどしく読んでいる子どもも見受けられます。きつと
字を読むのに精一杯で、物語を楽しんではいない
と思います。まだまだ**大人の手助けが必要**です。
絵本から幼年文学、そして児童文学に行きつ
くまで、読み聞かせを続けてください。子
どもから「もう一人で読むから」と言
われるまで、どうぞ続けてくださいね。



ちしきの絵本 = おすすめの 31 冊 =



さくら

長谷川摂子 文 欠間芳子 絵・構成 / 福音館書店

ヤサマ

わたしはソメイヨシノという名前のサクラの木。ほら、見てみて。春にきれいな花を咲かせ散った後、葉っぱの赤ちゃんが顔を出し、赤いさくらんぼが実ります。一本のサクラの木の一年の様子を、色鮮やかな絵とテンポの良い文章で描いています。



しっぽのはたらき

川田健 ぶん 数内正幸 え 今泉古典 監修 / 福音館書店

ヤフウ

生き物のしっぽは、それぞれの暮らし方によって働きが違ってきます。「なんのしっぽでしょう？」の問いかけにページをめくると、にほんざる、犬、牛など、しっぽの持ち主が現れます。丁寧に描かれた絵が、生き物の生態を分かりやすく伝えてくれます。



みずとはなんじゃ？

かこさとし 作 鈴木まもる 絵 / 小峰書店

ススキ

朝起きて顔を洗ったり、うがいをするしたり、飲んだりする水、花や植木の根元に注いでやる水。水とは一体どんなものでしょう。わたしたちの暮らしに欠かせない水の不思議な性質を知り、自然環境との共生の大切さについて学ぶ、かこさとし作の最後の絵本です。

あいうえおの本

安野光雅 / 福音館書店

アンノ

あずき

荒井典紀 文・絵 / 福音館書店

アライ

アリからみると

桑原隆一 文 栗林慧 写真 / 福音館書店

クリハ

イワシ むれでいきるさかな

大片忠明 さく / 福音館書店

オオカ

ウラバン・オコサ

谷川晃一 / 童心社

タニカ

かさぶたくん

やぎゆうげんいちろう さく / 福音館書店

ヤキユ

くうきはどこに？

ジョン・オブライエン 絵 フランクリン・M・ブランリー 作 / 童心社

オフラ

ことばのこぼこ

和田誠 さく・え / 瑞雲舎

ワタ

ごんごろじゃがいも

いわざゆうこ さく / 童心社

イワサ

ざっそう	甲斐信枝 ふん・え / 福音館書店	カイ
ざりがに	吉崎正巳 ふん・え 須甲鉄也 監修 / 福音館書店	ヨシサ
しずくのぼうけん	マリア・テルリコフスカ さく ポフダン・ブテンコ え うちだりさこやく / 福音館書店	フテン
せいめいのれきし	バージニア・リー・パートン / 岩波書店	ハトン
たんぼぼ	平山和子 ふん・え 北村四郎 監修 / 福音館書店	ヒラヤ
ちきゅうがウンチだらけに ならないわけ	松岡たつひで / 福音館書店	マツオ
とりにったきょうりゅうのはなし	大島英太郎 さく / 福音館書店	オオシ
はははのはなし	加子里子 ふん・え / 福音館書店	カコ
びっくりまつぼっくり	多田多恵子 ふん 堀川理万子 え / 福音館書店	ホリカ
ひまわり	荒井真紀 文・絵 / 金の星社	アライ
富士山にのぼる	石川直樹 / 教育西劇	イシカ
ふゆめがっしょうだん	畠成忠夫、茂木透 写真 長新太 文 / 福音館書店	トミナ
ぼくたちはみんな旅をする	ローラ・ノウルズ 文 クリス・マッテン 絵 石川直樹 訳 / 講談社	マツテ
ぼくのぼん わたしのぼん	神沢利子 ふん 林明子 え / 福音館書店	ハヤシ
干し柿	西村豊 写真 文 / あかね書房	ニシム
みんなうんち	五味太郎 さく / 福音館書店	コミ
もぐらはすごい	アヤ井アキコ 作 川田伸一郎 監修 / アリス館	アヤイ
よもぎだんご	さとうわきこ さく / 福音館書店	サトウ
わらべうたであそびましょ!	さいとうしのぶ 編・絵 / のら書店	サイト



おかしな絵本 = おすすめの29冊 =



おおきなかぶ

ロシア民話 A.トルストイ 再話
内田莉沙子 訳 佐藤忠良 画 / 福音館書店

サトウ

大きなかぶができました。おじいさんはかぶを抜こうとしましたが、抜けません。おばあさんと一緒にひっぱっても抜けません。孫を呼んで、犬を呼んで、猫を呼んで、ネズミを呼んで……。『うんとこしょどっこいしょ』の繰り返しが楽しいお話です。



かさじぞう

瀬田貞二 再話 赤羽末吉 画 / 福音館書店

アカハ

大晦日、じいさんはあみがさを売りに出かけますが見向きもされません。帰る途中、じぞうさまが寒そうだったので売り物と自分のかぶをかぶせてあげました。すると、正月の朝そり引きの音が聞こえてきて……。貧しくも優しいじいさんとばあさんのお話です。



てぶくろ

ウクライナ民話 エウゲーニー・M・ラチョフ え うちだりさこ やく
福音館書店

ラチヨ

雪降る森に、おじいさんがてぶくろを落としていきました。そこに、くいしんぼねずみがやってきて、てぶくろの中に住むことにしました。次から次へと動物たちがやってきて、てぶくろの中に入ろうとしますが……。動物たちの名前も楽しい絵本です。

赤ずきん

バーナディット・ワッツ 絵 生野幸吉 訳 / 岩波書店

ウオツ

いっすんぼうし

いしいももこ ぶん あぎのふく え / 福音館書店

アキノ

うさぎのみみはなぜながい

メキシコ民話 北川民次 ぶんとえ / 福音館書店

キタカ

うらしまたろう

時田史郎 再話 秋野不矩 画 / 福音館書店

アキノ

王さまと九人のきょうだい

中国民話 君島久子 訳 赤羽末吉 絵 / 岩波書店

アカハ

おおかみと七ひきのこやぎ

フェリクス・ホフマン え せたていじ やく / 福音館書店

ホフマ

おだんごばん

ロシア民話 せたていじ やく わきたかづ え / 福音館書店

ワキタ

かえるをのんだととさん

斎藤隆夫 絵 日野十成 再話 / 福音館書店

サイト

かちかちやま

おざわとしお 再話 赤羽末吉 画 / 福音館書店

アカハ

かにむかし

木下順二 文 清水崑 絵 / 岩波書店

シミス

3びきのくま	イギリス昔話 トルストイ ぶん バスネツォフ え おがさわとよき やく / 福音館書店	ワスネ
三びきのこぶた	イギリス民話 瀬田貞二 やく 山田三郎 え / 福音館書店	ヤマタ
三びきのやぎのらがらどん	北欧民話 マーシャ・ブラウン え せたていじ やく / 福音館書店	フラウ
ジャックと豆の木	ジョン・シェリー 再話 絵 おびかゆうこ 訳 / 福音館書店	シエリ
スーホの白い馬	モンゴル民話 大塚勇三 再話 赤羽末吉 画 / 福音館書店	アカハ
だいくとおにろく	松居直 再話 赤羽末吉 画 / 福音館書店	アカハ
だごだごころころ	石黒漢子 再話 榎山俊夫 再話・絵 / 福音館書店	カシヤ
ちからたろう	いまえよしとも ぶん たしませいぞう え / ポプラ社	タシマ
ねむりひめ	フェリクス・ホフマン え せたていじ やく / 福音館書店	ホフマ
ふるやのもり	瀬田貞二 再話 田島征三 画 / 福音館書店	タシマ
ブレーメンのおんがくたい	ハンス・フィッシャー え せたていじ やく / 福音館書店	フィツ
へっこきあねさがよめにきて	大川悦生 文 太田大八 絵 / ポプラ社	オオタ
マーシャとくま	ロシア民話 E・ラチュフ え M・プラトフ さいわ うちだりさこやく / 福音館書店	ラチヨ
ももたろう	松居直 文 赤羽末吉 画 / 福音館書店	アカハ
やまなしもぎ	平野直 再話 太田大八 画 / 福音館書店	オオタ
やまんばのにしき	まつたにみよこ ぶん せがわやすお え / ポプラ社	セカフ



図書館でのおはなし会

静岡市立図書館では、定期的におはなし会を開催しています。
各図書館によって日程や内容が異なります。
詳しくは、各図書館へお気軽にお問い合わせください。
図書館ウェブサイトによる情報発信もしていますのでご利用ください。

●静岡市立図書館ウェブサイト

<https://www.tosyokan.city.shizuoka.jp/>

(こどもっちページの「おはなし会」をご覧ください)



あ	
あいうえおの本	39
あおくとときいるちゃん	4
赤ずきん	41
あくび	4
あずき	39
あっちゃんあがつく	4
雨、あめ	11
アリからみると	39
ありとすいか	4
アンガスとあひる	11
アンナの赤いオーバー	27
いたずらきかんしゃゆうちゅう	27
いたずらこねこ	11
いちごばたけのちいさなおばあさん	11
いっずんぼうし	41
イワシ むれでいきるさかな	39
ウエズレーの国	27
うさぎのみみはなぜながい	41
ウミガメものがたり	27
うらしまたろう	41
ウラバン・オコサ	39
うんちしたのはだれよ!	12
エイモスさんがかぜをひくと	28
えんどうまめばあさんとそらまめじいさんの いそがしい毎日	12
王さまと九人のきょうだい	41
王さまライオンのケーキ	28
おおかみと七ひきのこやぎ	41
おおきいツリーちいさいツリー	12
おおきくなるっていうことは	12
おおきなかぶ	41
おかあさんがおかあさんになった日	28
おかえし	5
おこだでませんように	28
おじいさんと 10 びきのおばけ	12
おしゃべりなたまごやき	28
おたすけこびと	5
おだんごばん	41
おにたのぼうし	28
おふるだいき	12
おへそのあな	13
おやすみなさい おつきさま	5
おりこうなアニカ	13

か	
かいじゅうたちのいるところ	13
かいちゅうでんとう	5
かえるをのんだととさん	41
かさじぞう	41
かさぶたくん	39
かたあしだちょうのエルフ	29
かちかちやま	41
かにむかし	41
かばくん	5
かべのむこうになにがある?	29
かもさんおとおり	29
からすのパンやさん	13
ガンピーさんのふなあそび	14
木	29
木はいいなあ	14
キャベツくん	14
きょうのごはん	14
きよだいなきよだいな	14
くうきはどこに?	39
くまのコールテンくん	14
くものすおやぶんとりものちょう	15
ぐりとぐら	15
ぐるんぱのようちえん	15
くんちゃんのだいいりょう	15
げんきなマドレーヌ	15
皇帝にもらった花のたね	30
ごきげんならいおん	30
こすずめのぼうけん	15
ことばのこぼこ	39
こねこのびっち	16
このあだになにがあった?	16
このほんよんでくれ!	30
この世でいちばんすばらしい馬	30
ごんごろじゃがいも	39
こんとあき	16

さ	
さくら	39
ざっそう	40
ざりがに	40
3びきのくま	42
3びきのこぶた	42
3びきのやぎのがらがらどん	42
ジオジオのかんむり	16

じごくのそうべえ	30
しづくのぼうけん	40
しっぽのはたらき	39
字のないはがき	30
じゃぐちをあけると	5
ジャックと豆の木	42
11 ひきのねこ	16
14 ひきのひっこし	16
じゅげむ	31
しょうぼうじどうしゃじぶた	17
しりとりのだいすきなおうさま	17
しるいうさぎとくるいうさぎ	31
しんせつなともだち	17
じんべえざめ	31
スイミー	17
ずーっとずっとだいすきだよ	31
スーホの白い馬	42
すてきな三にんぐみ	18
せいめいのれきし	40
せかいいちうつくしいぼくの村	31
せかいいちまじめなレストラン	31
せかいのひとびと	32
戦争をやめた人たち	32
せんたくかあちゃん	18
そうくんのさんぼ	6
ソーニャのめんどり	18
ソメコとオニ	32
そらいろのたね	18
そらめくんのベッド	18
そりゃあもういいひだったよ	18

た

ターちゃんとかペリカン	19
だいくとおにろく	42
だごだごころころ	42
たのしいふゆごもり	19
だるまちゃんとうさぎちゃん	19
たんぼぼ	40
ちいさいおうち	32
ちいさなちいさなおんなのこ	6
ちいさなヒッポ	6
ちからたろう	42
ちぎゅうがウンチだらけにならないわけ	40
地球のことをおしえてあげる	33
つきのぼうや	19

月夜のみみずく	33
ティッチ	6
てじな	6
てぶくる	41
てぶくるがいつぱい	19
手ぶくるを買いに	33
でんしゃにのったよ	6
でんしゃにのって	7
どうぞのいす	19
としょかんねずみ	20
としょかんライオン	33
とべバツタ	33
ともだちや	33
トラのじゅうたんになりたかったトラ	20
とりかえっこ	7
とりになったきょうりゅうのはなし	40
どろんここぶた	34
どろんこハリー	20
とんとんとめてくださいな	7
どんなかんじかなあ	34
どんなにきみがすきだかあててごらん	20

な

ないしょのおともだち	34
ないたあかおに	34
中をそうぞうしてみよ	34
なつのいちにち	20
なにをたべてきたの？	7
なまえのないねこ	20
にじいろのさかな	21
二ひきのこぐま	21
二平方メートルの世界で	34
ねえ、どれがいい？	21
ねずみくんのチョッキ	8
ねむりひめ	42
のろまなローラー	8

は

ばくばくはんぶん	21
はじめてのおつかい	22
はたらきもののじよせつしゃけいていー	22
花さき山	35
はなをくんくん	8
はははのはなし	40
バムとケロのにちようび	22

はらぺこあおむし	8
はるがきた	35
バルバルさん	22
はるどとむらさぎのくれよん	22
パンダ銭湯	8
パンやのくまさん	8
ピーターのいす	9
ピーターラビットのおはなし	35
びっくりまつぼっくり	40
1つぷのおこめ	35
ひまわり	40
ひみつのカレーライス	36
100万回生きたねこ	36
ヒロシマ消えたかぞく	36
ふしぎなたけのこ	22
ふしぎなナイフ	23
富士山にのぼる	40
ふたりはともだち	36
ふゆめがっしょうだん	40
ふるやのもり	42
ブレーメンのおんがくたい	42
へいわとせんそう	23
へっこきあねさがよめにきて	42
ペレのあたらしいふく	23
へんしんトンネル	23
ぼく、だんごむし	23
ぼくだけのこと	36
ぼくたちはみんな旅をする	40
ぼくにげちゃうよ	9
ぼくのかえりみち	36
ぼくのばん わたしのばん	40
ぼくはあるいたまっすぐまっすぐ	9
ぼくはなきました	37
ぼくはブルドーザー!	9
ぼくは川のように話す	37
干し柿	40

ま

マーシャとくま	42
まあちゃんのながいかみ	23
まっくるネリノ	24
まほうのコップ	24
まゆとおに	24
まるまるまるのほん	10
みずとはなんじゃ?	39

みんなうんち	40
みんなとおなじくできないよ	37
めっきらもっきらどおんどん	24
もぐらはすごい	40
もこもこもこ	10
ももたろう	42
もりのおくのおちやかいへ	24
もりのかくれんぼう	24
もりのなか	37

や

やさいのおにたいじ	37
やまなしもぎ	42
やまんばのにしぎ	42
ゆきのひ	25
よあけ	37
よかったねネッドくん	25
よもぎだんご	40
よるくま	10

ら

ラチとらいおん	25
りんごかもしれない	25
りんごのき	38
ルピナスさん	38
ルリユールおじさん	38
ロージーのおさんぽ	26
口バのシルベスターとまほうの小石	38
ロンバーちゃんとふうせん	26

わ

わゴムはどのくらいのびるかしら?	26
わたしとあそんで	26
わたしのワンピース	10
わたしはいいこ?	26
わにさんどきっはいしやさんどきっ	10
わらべうたであそびましょ!	40

あ	
赤羽未吉	41,42
秋野不矩	41
秋山あゆ子	15
あきやまだし	23
あまんきみこ	28
アヤ井アキコ	40
荒井真紀	39,40
荒井良二	18
安野光雅	39
飯野和好	4
イーラ	21
いけだたつお	34
石井聖岳	28,37
いしいももこ	41
石川直樹	40
石黒漢子	42
いせひでこ	38
乾栄里子	22
井上荒野	36
いまえよしとも	42
いわさきちひろ	28
いわさきゆうこ	39
いわむらかずお	16
ウィリアムズ, ガース	31
ウィルヘルム, ハンス	31
上野紀子	8
ウォージントン, セルビ	8
ウォージントン, フィービ	8
ウォール, フィービー	18
内田麟太郎	33
ウングレー, トミー	18
エアブルッフ, ヴォルフ	12
エインズワース, ルース	15
えがしらみちこ	26
エッツ, マリー・ホール	26,37
大片忠明	39
大川悦生	42
大島英太郎	40
太田大八	42
大塚勇三	42
おおむらゆりこ	15,18
岡本雄司	6
おざわとしお	41
おのきがく	29
オプライエン, ジョン	39
織茂恭子	5
オルセン, イブ・スバング	19
か	
カーク, ダニエル	20

カール, エリック	8
甲斐信枝	40
柿本幸造	19
角田光代	30
加古里子	13,19,39,40
梶山俊夫	42
片山健	19
片山令子	19
加藤休ミ	14
カルボネリ, ベネディクト	30
ガルラー, ヘルガ	24
川島敏生	24
川田健	39
川端誠	31
神沢利子	40
キーツ, エズラ・ジャック	9,25
岸田衿子	5,7,16
木島始	29
北川民次	41
木下順一	41
クーニー, バーバラ	38
くすのきしげのり	28,37
クック, バーナディン	11
クラウス, ルース	8
クラジラフスキー, フィリス	6
栗林慧	39
グレアム, マーガレット・ブロイ	20,35
黒井健	33
桑原隆一	39
小出正吾	8
こいでたん	7
こいでやすこ	7
香山美子	19
小林豊	31
五味太郎	10,40
ココセジュンジ	5

さ	
サーラー, マイク	26
さいとうしのぶ	4,40
斎藤隆夫	41
斎藤隆介	32,35
サイモント, マーク	8,14
酒井駒子	10,26
指田和	36
佐藤忠良	29,41
佐藤雅彦	16,34
さとうわきこ	7,18,40
佐野洋子	36
ジューフェルト, ハリエット	27
ジェラーム, アニタ	20

シェリー, ジョン	42
ジオン, ジーン	20,35
島田ゆか	22
清水崑	41
シャーリップ, レミイ	11,25
ジャンホン, チェン	30
シュルヴィッツ, ユリー	37
ジョイナー, ジェリー	26
ショーエンヘル, ジョン	33
ジョンソン, クロケット	22
新宮晋	5,31
末吉暁子	24
スギヤマカナヨ	36
スコット, ジューダン	37
鈴木まもる	27,32,39
鈴木六郎	36
スタイグ, ウィリアム	38
ステッド, エリン・E	28
ステッド, フィリップ・C	28
スピア, ビーター	11,32
ズマトリーコバー, ヘレナ	38
スミス, シドニー	37
スロポドキン, フローレンス	19
スロポドキン, ルイス	19
瀬川康男	22,42
瀬田貞二	41,42
センダック, モーリス	13

た

たかどのほうこ	23
たかはしきよし	23
滝平二郎	32,35
竹下文子	20
田島征三	33,42
たじまゆきひこ	30
たしるちさと	31
多田多恵子	40
田中清代	36
谷川晃一	39
たにかわしゅんたるう	10,23
たむらしげる	4
長新太	14,28,40
土屋富士夫	6
筒井頼子	22
tupera tupera	8
坪井郁美	9
つるたようこ	37
テックントラップ, ブリッタ	29
デミ	30,35
デュボアザン, ロジャー	30
デュレ, エルヴェ	10

寺村輝夫	28
テルリコフスカ, マリア	40
ドゥリュリュウ, ミカエル	30
時田史郎	41
得田之久	23
ドノフリオ, ビバリー	34
富成忠夫	40
富安陽子	24
とよだかずひこ	7
トルストイ, アレクセイ・ニコラエヴィチ	41
トルストイ, レフ・ニコラエヴィッチ	42

な

なかえよしを	8
なかがわちひろ	5
中川ひろたか	4,12
なかがわりえこ	15,18
中谷千代子	5,11,16
なかのひろたか	6
長野ヒデ子	28
長野博一	7
中村翔子	17
中村敦江	23
中山千夏	34
なかやみわ	18
新美南吉	33
西内ミナミ	15
西加余子	30
にしかわおさむ	12
にしまさきやこ	10
西村敏雄	22
西村豊	40
ニノン	6
ヌードセン, ミシェル	33
ノウルズ, ローラ	40
Noritake	23

は

ハード, クレメント・G	5,9
バートン, バージニア・リー	22,27,32,40
バーニングム, ジョン	14,21
長谷川摂子	14,24,39
長谷川義史	13
はたこうしろう	17,20,34
ハッチンス, パット	6,26
馬場のぼる	16
はまだひろすけ	34
林明子	9,12,16,22,24,40
林健造	23
バリー, ロバート	12
ひがしちから	36

日野十成	41
平野直	42
平山和子	40
ファティオ、ルイーゼ	30
方軼羣(ファン イーチュン)	17
フィスター、マーカス	21
フィッシャー、ハンス	16,42
福田隆義	23
藤田千枝	24
二俣英五郎	7
ブテンコ、ボフダン	40
プラートフ・M	42
フライシュマン、ポール	27
ブラウン、マーガレット・ワイズ	5,9
ブラウン、マーシャ	6,42
フラック、マージョリー	11
ブラッコール、ソフィー	33
ブランリー、フランクリン・M	39
フリーマン、ドン	14,19
降矢なな	12,14,24,33
ペーメルマンズ、ルドウィッヒ	15
ベスコフ、エルサ	13,23
ベチシカ、エドアルド	38
ペロニカ、マレーク	25
ホークス、ケビン	27,33
ポター、ピートルクス	35
ホフマン、フェリクス	41,42
堀内誠一	15
堀川理万子	40
ホルツヴァルト、ヴェルナー	12
ま	
前田海音	34
マクブラットニィ、サム	20
マクリントック、バーバラ	34
マケリゴット、マシュー	28
町田尚子	20
松井直	42
松岡享子	12
松岡たつひで	40
マックロスキー、ロバート	29
まつたにみよこ	42
マッデン、クリス	40
松野正子	22
マリノ、ドロシー	15
三浦太郎	9
南伸坊	21
みねよう	4
みやこしあきこ	5,24
向田邦子	30
村上康成	12

村山柱子	5
村山知義	17
茂木透	40
もとながさだまさ	10
森絵都	36

や

やぎゅうげんいちろう	39
矢間芳子	39
藪内正幸	39
山田三郎	42
山本忠敬	8,17
湯浅正太	37
ユードリイ、ジャニス・メイ	14
ユーフラテス	16,34
ヨーレン、ジェーン	33
吉崎正巳	40
ヨシタケシンスケ	25

ら

ラチョフ、エフゲーニ・ミハイロヴィチ	41,42
レオニ、レオ	4,17
ローズ、ジェラルド	20
ローベル、アーノルド	34,36
ローベル、アニタ	27

わ

わきたかず	41
ワスネツォフ、ユーリー	42
渡辺茂男	17
渡辺鉄太	21
わたりむつこ	11
和田誠	34,39
ワッツ、バーナディット	41

このほん ば〜った!

図書館員が選んだおすすめの絵本

発行：平成3年3月15日

第2訂：平成27年10月27日

第3訂：令和6年3月1日

発行者：静岡市立図書館
静岡市葵区大岩本町29番1号
TEL: 054-247-6711